

【人権の尊重】

重点目標

担当部署

Ⅱ 異性に対する暴力の根絶と人権の尊重

市長室

基本的方向

市政戦略課

2 様々な人権を守るための取組

具体的方向

(2) 有害情報等による被害防止のための取組

事業名	事業概要
① 情報の正しい認識力を高める学習機会の提供	悪質情報、有害情報等への注意喚起

現状	随時実施	目標
		広報紙やホームページなどを通じて注意喚起を呼びかける

○ 前年度実績（平成 29 年度）

※予定数値及び実績数値は実数値を入力

活動内容	予定数値	予算(千円)	担当課による事業の評価及び今後の課題				
引き続き、悪質・有害な情報への注意喚起を行なうため、各担当課からの情報提供に応じて広報紙やホームページに掲載し、市民に伝えていく。	随時実施	-	引き続き、悪質・有害な情報への注意喚起を行なうため、各担当課からの情報提供に応じて広報紙やホームページに掲載し、市民に伝えていく。				
実施結果	実績数値	決算(千円)	目標達成のために要する年度単位				
児童ポルノ、援助交際などについて、各担当課からの情報提供がなく、注意喚起は行わなかった。今後、各課と連携し、必要に応じ注意喚起を行って行く。	実績なし	-	<input checked="" type="checkbox"/> 年度ごと <input type="checkbox"/> 複数年度単位 年				
			<table border="1"> <thead> <tr> <th>今年度における達成状況</th> <th>目標に対する達成状況</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td style="text-align: center;">A</td> <td style="text-align: center;">A</td> </tr> </tbody> </table>	今年度における達成状況	目標に対する達成状況	A	A
今年度における達成状況	目標に対する達成状況						
A	A						

○ 今年度予定（平成 30 年度）

活動内容	予定数値	予算(千円)
引き続き、悪質・有害な情報への注意喚起を行なうため、各担当課からの情報提供に応じて広報紙やホームページに掲載し、市民に伝えていく。	随時実施	-

○ 今後の目標及び計画値

平成27年度まで
引き続き児童ポルノ・援助交際、悪質、有害な情報への注意喚起を行なうため、各担当課からの情報提供に応じて広報ざまに掲載し、市民に伝えていく。
平成32年度まで
引き続き、悪質・有害な情報への注意喚起を行なうため、各担当課からの情報提供に応じて広報紙やホームページに掲載し、市民に伝えていく。

協議会評価	協議会コメント
	プラン対象事業ではなくなっているため、評価対象外とする。

【社会づくり】

重点目標

I ひとりひとりが多様な生き方を選択できる社会づくり

基本的方向

2 性別にとらわれない活躍の場づくり

具体的方向

(2) あらゆる分野への男女共同参画の推進

担当部署

市長室

危機管理課

事業名	事業概要
① 地域活動への男女共同参画の推進	多様な視点を取り入れた地域防災計画の策定、運用

現状	地域防災計画の運用実施中	目標	地域防災計画に基づき、実施継続
----	--------------	----	-----------------

○ 前年度実績 (平成 29 年度)

※予定数値及び実績数値は実数値を入力

活動内容	予定数値	予算(千円)	担当課による事業の評価及び今後の課題				
前年度におけるニーズ調査より、父親も参加しやすい子育て世代向けの防災イベントを開催する。子育てだけでなく、仕事や家事等に忙しい保護者でも日常生活で無理なくできる防災をテーマにイベントや講座を開催。 座間市子育て世代の防災対策事業アドバイザーとして女性アドバイザーを採用。	イベント講座開催	707	母親だけではなく、父親(男性)も参加する子育て世代向けの防災イベントを開催することができた。セミナーのアンケートでは母親だけではなく、父親参加者からも好評を頂いた。来年度も継続して、夫婦、ファミリーで参加できるイベントを開催していきたい。 平成30年度の防災冊子作成に向けて、29年度までに収集したニーズを分析し、反映させていく。				
実施結果	実績数値	決算(千円)	目標達成のために要する年度単位				
平成29年度座間市子育て世代の防災対策事業アドバイザーとしてあんどりす氏を任命。アドバイザーを講師とし、ファミリー向け(パパママ)の休日セミナー、子育て世代や支援者向けの平日セミナーを開催。平日の講座には子育て中の母親だけではなく、男性の参加も多く見ることができた。	セミナー2講座2	657	<input type="checkbox"/> 年度ごと <input checked="" type="checkbox"/> 複数年度単位 3 年 <table border="1"> <tr> <th>今年度における達成状況</th> <th>目標に対する達成状況</th> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">B</td> <td style="text-align: center;">B</td> </tr> </table>	今年度における達成状況	目標に対する達成状況	B	B
今年度における達成状況	目標に対する達成状況						
B	B						

○ 今年度予定 (平成 30 年度)

活動内容	予定数値	予算(千円)
本事業の最終年度となる今年度は、前年度まで継続して開催した子育て世代向けの防災イベントの他に、座間市オリジナルの子育て世代向け防災冊子を作成し、配布予定。 防災冊子作成には市内子育て世代参加型のワークショップを開催し、子育て世代の声が反映された冊子を作成。冊子作成にあたり、子育て支援ネットワークと意見交換を行う。	セミナー1 WS2 講座	1,049

○ 今後の目標及び計画値

平成27年度まで
地域防災計画に従って見直しを行い、効果的な運用を行いたい。
平成32年度まで
平成30年度に作成予定の子育て世代向け防災冊子を使用し、冊子をより有効活用するための講座を継続して開講

協議会評価	協議会コメント
B	目標達成に向けて必要な考察・改善を行っていくこと。

【社会づくり】

重点目標

I ひとりひとりが多様な生き方を選択できる社会づくり

担当部署

総務部

基本的方向

1 仕事と生活の調和が図れる環境の整備

職員課

具体的方向

(1) 多様な働き方への支援

事業名	事業概要
① 職場環境、労働条件格差の解消の促進	長時間労働の解消

現状	随時実施	目標	随時実施

○ 前年度実績（平成 29 年度）

※予定数値及び実績数値は実数値を入力

活動内容	予定数値	予算(千円)	担当課による事業の評価及び今後の課題	
・ノー残業デー強化月間を設けて残業の抑制およびワークライフバランスの推進に取り組む。 ・時間外勤務命令が月40・60時間以上となる職員の報告の継続実施。 ・係、担当ごとの時間外勤務実績(30時間以上)の公表。	■常勤職員の平均超過勤務時間数16時間	—	新たにノー残業デー強化月間を設定したところ、期間月については、一定の時間外勤務抑制効果が見受けられ、ワークライフバランスの推進に寄与した。しかしながら、年間の月平均残業時間数はほぼ減っていないことから、目標達成に向けた様々なアプローチを検討していかなければならない。	
実施結果	実績数値	決算(千円)	目標達成のために要する年度単位	
継続して、時間外勤務命令が月40・60時間以上となる職員の報告及び時間外勤務実績(月30時間以上)の公表を行った。 また、新たな取り組みとして、7月・8月をノー残業デー(水曜日)強化月間とし、水曜日に残業を行う場合は所属部長の押印を必要とする報告書を提出させることにより、定時帰庁を促し、ワークライフバランスの推進を行った。	■常勤職員の平均超過勤務時間数17.18時間	—	<input type="checkbox"/> 年度ごと	<input checked="" type="checkbox"/> 複数年度単位 5 年
			今年度における達成状況	目標に対する達成状況
			D	D

○ 今年度予定（平成 30 年度）

活動内容	予定数値	予算(千円)
・前年に続き、ノー残業デー強化月間を設定し、残業の抑制およびワークライフバランスの推進に取り組む。 ・時間外勤務命令が月40・60時間以上となる職員の報告の継続実施。 ・係、担当ごとの時間外勤務実績(30時間以上)の公表。 ・時差勤務の検討	■常勤職員の平均超過勤務時間数16時間	—

○ 今後の目標及び計画値

平成27年度まで
繁忙職場に再任用職員を重点的に配置する。
平成32年度まで
常勤職員の平均超過勤務時間を月10時間以下にする。

協議会評価	協議会コメント
D	目標達成のために特に問題がなければ、このまま目標に向かって努力すること。そうでなければ必要な策を講じること。また、「現状」と「目標」の具体的な記述に努めて下さい。

【社会づくり】

重点目標

I ひとりひとりが多様な生き方を選択できる社会づくり

担当部署

総務部

基本的方向

1 仕事と生活の調和が図れる環境の整備

職員課

具体的方向

(1) 多様な働き方への支援

事業名		事業概要	
② 育児休業・介護休業制度の普及・促進		男性職員への育児休業・介護休暇制度の普及啓発	
現状	随時実施	目標	随時実施

○ 前年度実績（平成 29 年度）

※予定数値及び実績数値は実数値を入力

活動内容	予定数値	予算 (千円)	担当課による事業の評価及び今後の課題					
<ul style="list-style-type: none"> ・育児休業および介護休暇制度の周知。 ・取得率等を定期的に発信することで、周囲の理解の得やすい環境づくりを試みる。 ・取得しやすい環境づくりのため、管理職に対する研修等の実施。 ・男性職員向けの育児休業等のパンフレットを作成する。 	■ハラスメント防止・イクボス研修(年1回)	—	イクボス研修を引き続き行うと共に、子どもが生まれた男性職員にも休暇制度の声掛けを行ったが、男性職員の育児に関する休暇取得率は伸び悩んでいる状態である。短期間で取得を促す等、啓発に工夫が必要と感じている。					
実施結果	実績数値	決算 (千円)	目標達成のために要する年度単位					
<ul style="list-style-type: none"> ・課長補佐級(副主幹等)に昇格した者を対象とし、イクボス研修の実施。 ・子どもが生まれた男性職員に対して、休暇制度等のアナウンスを行いました。育児休業、部分休業又は育児短時間勤務を取得する職員はいませんでしたので取得率は0%です。 	■ハラスメント防止・イクボス研修(年1回)	—	<input type="checkbox"/> 年度ごと <input checked="" type="checkbox"/> 複数年度単位 <input type="text" value="5"/> 年	<table border="1"> <tr> <th>今年度における達成状況</th> <th>目標に対する達成状況</th> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">D</td> <td style="text-align: center;">D</td> </tr> </table>	今年度における達成状況	目標に対する達成状況	D	D
今年度における達成状況	目標に対する達成状況							
D	D							

○ 今年度予定（平成 30 年度）

活動内容	予定数値	予算 (千円)
<ul style="list-style-type: none"> ・男性職員向けの育児休業等のパンフレットを作成する。 ・取得率等を定期的に発信することで、周囲の理解の得やすい環境づくりを試みる。 ・取得しやすい環境づくりのため、引き続き管理職に対する研修の実施。 	■ハラスメント防止・イクボス研修(年1回)	—

○ 今後の目標及び計画値

平成27年度まで
育児休業取得状況の確認及び制度の周知
平成32年度まで
育児休業や部分休業、育児短時間勤務を取得する男性職員の割合を10%以上にする。

協議会評価	—
D	目標達成のために特に問題がなければ、このまま目標に向かって努力すること。そうでなければ必要な策を講じること。また、「現状」と「目標」の具体的な記述に努めて下さい。

【社会づくり】

重点目標

I ひとりひとりが多様な生き方を選択できる社会づくり

基本的方向

2 性別にとらわれない活躍の場づくり

具体的方向

(2) あらゆる分野への男女共同参画の推進

担当部署

総務部

職員課

事業名	事業概要
② 政策・方針決定等の意思決定における男女共同参画の推進	行政機関での女性の管理職登用の推進

現状	27.81%	目標	公平な人事登用の実施
----	--------	----	------------

○ 前年度実績（平成 29 年度）

※予定数値及び実績数値は実数値を入力

活動内容	予定数値	予算 (千円)	担当課による事業の評価及び今後の課題	
管理職登用率の確認及び、引き続き性別に関わらず公平に優秀な人材を管理職へ人事登用を行っていく。	25.00%	—	女性管理職の割合については、毎年増加しており、今後も性別に関わらず公平な人事登用を行っていく。	
実施結果	実績数値	決算 (千円)	目標達成のために要する年度単位	
女性管理職(6級以上) 42人 管理職総数(6級以上) 151人	27.81%	—	<input checked="" type="checkbox"/> 年度ごと <input type="checkbox"/> 複数年度単位 年	
			今年度における達成状況	目標に対する達成状況
			A	B

○ 今年度予定（平成 30 年度）

活動内容	予定数値	予算 (千円)
管理職登用率の確認及び、引き続き性別に関わらず公平に優秀な人材を管理職へ人事登用を行っていく。	28.50%	—

○ 今後の目標及び計画値

平成27年度まで
管理職登用率の確認及び、引き続き公平な人事登用を行い、6級以上の女性職員の割合を20%にする。
平成32年度まで
管理職登用率の確認及び、引き続き公平な人事登用を行い、6級以上の女性職員の割合を30%にする。

協議会評価	協議会コメント
A	非常に良好な状態であると思われる。この状態を次年度以降も継続していけるよう努めていくこと。

【人権の尊重】

重点目標

担当部署

Ⅱ 異性に対する暴力の根絶と人権の尊重

総務部

基本的方向

職員課

1 異性への暴力防止と根絶への取組の推進

具体的方向

(1) 異性への暴力防止のための取組の推進

事業名	事業概要
③ 異性への暴力防止の意識啓発	セクシュアル・ハラスメント防止のための啓発の実施

現状	年1回実施	目標	年1回以上実施

○ 前年度実績（平成 29 年度）

※予定数値及び実績数値は実数値を入力

活動内容	予定数値	予算(千円)	担当課による事業の評価及び今後の課題	
研修を年1回以上開催し、研修の対象者など、計画的に割り振ることで職員に広く周知するとともに、セクシュアル・ハラスメント、パワーハラスメント及びマタニティハラスメントを生じさせない環境づくりに努める。	—	113	定期的な研修の実施によって、職員のハラスメントに対する認識は高まっている。研修の対象者のみならず、全職員に対してハラスメント防止の啓発等を効果的に行う方法を考えることが課題である。	
実施結果	実績数値	決算(千円)	目標達成のために要する年度単位	
<ul style="list-style-type: none"> 平成29年5月17日に副主(技)幹昇格者13名に対してハラスメント防止・イクボス研修を実施した。 人権週間にあわせて、「職場におけるハラスメントの防止について」といった全庁的な事務連絡の中でハラスメント防止に関する啓発を行った。 	<ul style="list-style-type: none"> ■ハラスメント防止・イクボス研修(年1回) ■人権週間にハラスメント防止の啓発を全職員に対して行う 	113	<input checked="" type="checkbox"/> 年度ごと <input type="checkbox"/> 複数年度単位	年 今年度における達成状況 目標に対する達成状況 A A

○ 今年度予定（平成 30 年度）

活動内容	予定数値	予算(千円)
引き続き研修を年1回以上開催し、全職員に対してセクシュアル・ハラスメントに対する啓発週間等を設け、周知徹底する。	<ul style="list-style-type: none"> ■ハラスメント防止・イクボス研修(年1回) ■人権週間にハラスメント防止の啓発、相談窓口等の職員への周知を行う 	113

○ 今後の目標及び計画値

平成27年度まで	研修を年1回以上開催し、研修の対象者など、計画的に割り振ることで職員に広く周知する。
平成32年度まで	他の基本研修の中にセクシュアル・ハラスメントに関する内容を積極的に取り入れることで、セクシュアル・ハラスメントを生じさせない環境づくりに取り組む。

協議会評価	協議会コメント
A	非常に良好な状態であると思われる。この状態を次年度以降も継続していけるよう努めていくこと。

【人権の尊重】

重点目標

担当部署

Ⅱ 異性に対する暴力の根絶と人権の尊重

総務部

基本的方向

職員課

1 異性への暴力防止と根絶への取組の推進

具体的方向

(1) 異性への暴力防止のための取組の推進

事業名	事業概要
③ 異性への暴力防止の意識啓発	セクシュアル・ハラスメント、パワーハラスメント等に関する相談窓口の周知及び整備

現状	随時実施	目標	随時実施

○ 前年度実績（平成 29 年度）

※予定数値及び実績数値は実数値を入力

活動内容	予定数値	予算 (千円)	担当課による事業の評価及び今後の課題	
・相談窓口の周知と相談しやすい環境の整備 ・深刻な状況になる前の相談が重要であることを定期的に発信する。	随時実施	—	相談窓口の認知度が上がり、相談しやすい環境が整いつつあるが、人によっては相談しにくい内容であるため表面化していない問題もあると思われる。今後も更なる改善に向けて、引き続き庁内周知と早めの対応に努めていきたい。	
実施結果	実績数値	決算 (千円)	目標達成のために要する年度単位	
・人権週間にあわせて、「職場におけるハラスメントの防止について」といった全庁的な事務連絡の中で相談窓口について周知を行った。	■ 人権週間にあわせて、相談窓口の周知を行った。	—	<input checked="" type="checkbox"/> 年度ごと <input type="checkbox"/> 複数年度単位 年	
			今年度における達成状況	目標に対する達成状況
			B	B

○ 今年度予定（平成 30 年度）

活動内容	予定数値	予算 (千円)
・引き続き相談窓口の周知と相談しやすい環境の整備を行う。 ・セクシュアルハラスメントに関する相談・苦情処理委員会の委員を選任し、相談体制の充実を図る。 ・職場におけるハラスメント防止要領を作成・公開することにより啓蒙を行う。	随時実施	—

○ 今後の目標及び計画値

平成27年度まで
相談窓口の周知及び相談しやすい環境の整備
平成32年度まで
相談窓口の有効な活用で、ハラスメントを起こさせない職場環境の整備

協議会評価	協議会コメント
B	目標達成に向けて必要な考察・改善を行っていくこと。

【社会づくり】

重点目標

I ひとりひとりが多様な生き方を選択できる社会づくり

担当部署

市民部

基本的方向

2 性別にとらわれない活躍の場づくり

市民協働課

具体的方向

(2) あらゆる分野への男女共同参画の推進

事業名	事業概要
① 地域活動への男女共同参画の推進	女性や子ども、高齢者や障害者にとって住みやすいまちづくりの推進

現状	実施中	目標	実施継続

○ 前年度実績（平成 29 年度）

※予定数値及び実績数値は実数値を入力

活動内容	予定数値	予算(千円)	担当課による事業の評価及び今後の課題	
地域住民に自主パトロールへの参加を呼びかけて参加者の増加を図り、女性も参加しやすい環境づくりを目指す。 防犯灯等についても、女性の視点に立った設備の拡充に努め、女性や子ども、高齢者や障害者にとって住みやすいまちづくりを推進する。	<ul style="list-style-type: none"> ■LED防犯灯新設 81基 ■防犯カメラリス 50基 	11,205	実施結果のとおり、防犯活動をととした地域活動に広く女性が参画することができたと共に、防犯灯の要望設置により女性や子ども、高齢者や障害者にとって住みやすいまちづくりの推進が図れた。	
実施結果	実績数値	決算(千円)	目標達成のために要する年度単位	
自主防犯パトロールについては、特に12月初旬に実施する「市内一斉防犯パトロール」へ、多くの女性に参加してもらうことができた。 また、防犯灯の新設についても、男女問わず申請を受理することにより、女性の視点による防犯灯新設を施工することができた。	<ul style="list-style-type: none"> ■LED防犯灯新設 73基 ■防犯カメラリス 50基 	8,004	<input checked="" type="checkbox"/> 年度ごと <input type="checkbox"/> 複数年度単位 年	
			今年度における達成状況	目標に対する達成状況
			A	A

○ 今年度予定（平成 30 年度）

活動内容	予定数値	予算(千円)
12月に実施する「市内一斉防犯パトロール」等において、引き続き参加者の増加を図ると共に、女性も参加しやすい環境づくりを目指す。 防犯灯についても、女性の視点による設備の拡充に努め、女性や子ども、高齢者や障害者にとって住みやすいまちづくりを推進する	<ul style="list-style-type: none"> ■パトロール参加人数(男女) 1,100人 ■LED防犯灯新設 87基 	6,026

○ 今後の目標及び計画値

平成27年度まで	地域住民による自主パトロールや防犯灯の整備などによって、安心して暮らせるまちになってきていると思う市民のアンケート調査結果の割合：55%
平成32年度まで	地域住民による自主パトロールや防犯灯の整備などによって、安心して暮らせるまちになってきていると思う市民のアンケート調査結果の割合：70%

協議会評価	協議会コメント
A	非常に良好な状態であると思われる。この状態を次年度以降も継続していけるよう努めていくこと。

【社会づくり】

重点目標

I ひとりひとりが多様な生き方を選択できる社会づくり

担当部署

市民部

基本的方向

1 仕事と生活の調和が図れる環境の整備

広聴人権課

具体的方向

(1) 多様な働き方への支援

事業名	事業概要
④ 起業についての講座の実施及び情報提供	公共機関等での起業に関する講座の実施状況等の情報提供

現状	情報提供については随時実施している	目標	情報提供については現状維持し、併せて起業についての相談室の開催
----	-------------------	----	---------------------------------

○ 前年度実績（平成 29 年度）

※予定数値及び実績数値は実数値を入力

活動内容	予定数値	予算(千円)	担当課による事業の評価及び今後の課題				
国、県等や他市町村で開催される講座等のチラシ等を随時情報コーナーに配架し、情報提供を行う。 さらに、「女性のチャレンジ支援相談室」を1回開催し、NPO法人日本キャリアコンサルタント協会職員(2名)による起業等についての相談事業も行う。	相談室への相談者8名(全8名分)	40	相談会のチラシの配布先を、子どもの健診など、対象者が多く集まる場で、新たに案内をし、事業の周知を図ったが、参加率を上げることが出来なかった。今後は、参加率向上に向け、さらなる工夫を検討する。				
実施結果	実績数値	決算(千円)	目標達成のために要する年度単位				
郵送されたものや研修・勉強会にて依頼若しくは取得した資料やチラシについて、適宜配架した。 10月24日火曜日9時～16時に実施した相談室については、相談者がこれからの就職活動に自信が持てたなど、好評を得た。	相談室への相談者2名	40	<input checked="" type="checkbox"/> 年度ごと <input type="checkbox"/> 複数年度単位 年 <table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td style="width: 50%;">今年度における達成状況</td> <td style="width: 50%;">目標に対する達成状況</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center; font-size: 2em;">B</td> <td style="text-align: center; font-size: 2em;">B</td> </tr> </table>	今年度における達成状況	目標に対する達成状況	B	B
今年度における達成状況	目標に対する達成状況						
B	B						

○ 今年度予定（平成 30 年度）

活動内容	予定数値	予算(千円)
情報提供については随時実施していく。 相談室に関しては、年1回開催となるが、今年度は説明会と相談を併せた支援を予定し、参加率10割を目指す。	相談室への相談者8名(全8名分)	40

○ 今後の目標及び計画値

平成27年度まで
情報コーナーの人権・男女共同参画コーナーの拡充を行い、当課の事業として起業相談室を最低年1回開催する。
平成32年度まで
起業相談室の参加率を9割とする。

協議会評価	協議会コメント
B	目標達成に向けて必要な考察・改善を行っていくこと。

【社会づくり】

重点目標

I ひとりひとりが多様な生き方を選択できる社会づくり

基本的方向

2 性別にとらわれない活躍の場づくり

具体的方向

(2) あらゆる分野への男女共同参画の推進

担当部署

市民部

広聴人権課

事業名	事業概要
② 政策・方針決定等の意思決定における男女共同参画の推進	各種審議会等への女性登用の推進

現状	各種審議会等の女性委員の比率 36.4%	目標	各種審議会等の女性委員の比率 50%

○ 前年度実績（平成 29 年度）

※予定数値及び実績数値は実数値を入力

活動内容	予定数値	予算(千円)	担当課による事業の評価及び今後の課題	
「附属機関等への男女共同参画促進要綱」に基づき、審議会等の女性委員の比率50%を目指し、年1回担当課への文書による呼びかけを行う。	審議会等の女性委員の比率 50%	-	各課に事業の重要度は認識されており、引き続き、文書の呼びかけ時期等をさらに早めるなど検討する。	
実施結果	実績数値	決算(千円)	目標達成のために要する年度単位	
29年度は2月1日付で各所属長あてに「審議会等の方針決定の場への男女共同参画促進について(依頼)」文書を送付し周知した。	審議会等の女性委員の比率 36.4%	-	<input checked="" type="checkbox"/> 年度ごと <input type="checkbox"/> 複数年度単位 年	
			今年度における達成状況	目標に対する達成状況
			B	B

○ 今年度予定（平成 30 年度）

活動内容	予定数値	予算(千円)
「附属機関等への男女共同参画促進要綱」に基づき、審議会等の女性委員の比率50%を目指し、年1回担当課への文書による呼びかけを行う。	審議会等への女性登用率50%	-

○ 今後の目標及び計画値

平成27年度まで
審議会等の女性委員の比率40%
平成32年度まで
審議会等の女性委員の比率50%

協議会評価	協議会コメント
B	目標達成に向けて必要な考察・改善を行っていくこと。

ざま男女共同参画プラン実施状況報告書

【 1 - 2 - (2) 広聴人権課 】

【社会づくり】

重点目標

I ひとりひとりが多様な生き方を選択できる社会づくり

基本的方向

2 性別にとらわれない活躍の場づくり

具体的方向

(2) あらゆる分野への男女共同参画の推進

担当部署

市民部

広聴人権課

事業名	事業概要
② 政策・方針決定等の意思決定における男女共同参画の推進	男女共同参画に通じる人材の育成支援

現状	随時実施	目標	チラシ配架コーナーの充実及び、人材育成のための研修会開催

○ 前年度実績（平成 29 年度）

※予定数値及び実績数値は実数値を入力

活動内容	予定数値	予算(千円)	担当課による事業の評価及び今後の課題				
かながわ男女共同参画センター等、公共機関において開催される講座のチラシを情報コーナー等に配架し、広く周知する。	-	-	県が開催する女性のキャリアアップ講座を職員に案内したことにより、当課に問い合わせがあり一定の効果があった。				
実施結果	実績数値	決算(千円)	目標達成のために要する年度単位				
かながわ男女共同参画センター等、公共機関において開催される講座のチラシを情報コーナー等に配架し、広く周知した。 女性活躍推進法に関するチラシを商工観光課から商工会に配布してもらった。 また、県が開催する女性のキャリアアップ講座を市の職員にも案内した。	左記のとおり	-	<input checked="" type="checkbox"/> 年度ごと <input type="checkbox"/> 複数年度単位 年 <table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td>今年度における達成状況</td> <td>目標に対する達成状況</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center; font-size: 2em;">B</td> <td style="text-align: center; font-size: 2em;">B</td> </tr> </table>	今年度における達成状況	目標に対する達成状況	B	B
今年度における達成状況	目標に対する達成状況						
B	B						

○ 今年度予定（平成 30 年度）

活動内容	予定数値	予算(千円)
かながわ男女共同参画センター等、公共機関において開催される講座のチラシを情報コーナー等に配架し、広く周知する。 また、県が開催する女性のキャリアアップ講座等を多くの人に周知する。	-	-

○ 今後の目標及び計画値

平成27年度まで
情報コーナーの人権・男女共同参画コーナーの拡充及び研修会の定例化。
平成32年度まで
情報コーナーの人権・男女共同参画コーナーを拡充し、広く市民に情報提供できるようにする。 市民対象の研修を1回開催。

協議会評価	協議会コメント
B	目標達成に向けて必要な考察・改善を行っていくこと。

【人権の尊重】

重点目標

Ⅱ 異性に対する暴力の根絶と人権の尊重

担当部署

市民部

基本的方向

広聴人権課

1 異性への暴力防止と根絶への取組の推進

具体的方向

(1) 異性への暴力防止のための取組の推進

事業名		事業概要	
① 配偶者等、異性に対する暴力行為相談体制の充実		暴力相談の充実	
現状	週4日(月・火・水・金)	目標	週4日(月・火・水・金)

○ 前年度実績 (平成 29 年度)

※予定数値及び実績数値は実数値を入力

活動内容	予定数値	予算(千円)	担当課による事業の評価及び今後の課題	
DV相談を週4日(月、火、水、金)実施 相談員 3名	194日	2,331	相談件数は平成26年から増加傾向にある。相談窓口の存在が周知されてきたと考えられる。夫婦間だけではなく、交際相手からの暴力(デートDV)が認知されはじめ、多様な相談に対応が必要になっている。更なる相談件数の増加が見込まれるため、相談日を週5日にするよう検討していく。	
実施結果	実績数値	決算(千円)	目標達成のために要する年度単位	
相談員3名及び、相談員不在の日は係員が対応のべ、228件のDV相談があった。県で開催されるDV問題に関する事例検討会において、当市で実際に起きたことを例に上げ、他市の相談員の意見を聞き、対応の参考にできた。	194日	2,542	<input checked="" type="checkbox"/> 年度ごと <input type="checkbox"/> 複数年度単位 年	
			今年度における達成状況	目標に対する達成状況
			A	A

○ 今年度予定 (平成 30 年度)

活動内容	予定数値	予算(千円)
DV相談を週4日(月、火、水、金)実施 県で開催されるDV問題に関する事例検討会などに参加し、スキルアップを図る。 また、平成31年度から相談日を週5日に出来るよう、各機関と調整する。	204日	2,542

○ 今後の目標及び計画値

平成27年度まで
DV相談を週4日(月、火、水、金)実施 ※実施計画に基づく。
平成32年度まで
DV相談を週4日(月、火、水、金)実施 ※実施計画に基づく。

協議会評価	協議会コメント
A	非常に良好な状態であると思われる。この状態を次年度以降も継続していけるよう努めていくこと。

【人権の尊重】

重点目標

Ⅱ 異性に対する暴力の根絶と人権の尊重

担当部署

市民部

基本的方向

広聴人権課

1 仕事と生活の調和が図れる環境の整備

具体的方向

(1) 異性への暴力防止のための取組の推進

事業名		事業概要	
② 配偶者等への暴力相談に対する関係機関の連携		DV対応情報交換会等を通じた関係機関の連携の強化	
現状	開催なし	目標	必要に応じ、早急に開催する

○ 前年度実績（平成 29 年度）

※予定数値及び実績数値は実数値を入力

活動内容	予定数値	予算 (千円)	担当課による事業の評価及び今後の課題	
DV対応情報交換会を開催し、関係機関との連携を図る。	状況に応じて開催	-	DV対応情報交換会は開催せず、事案に応じて子ども政策課、市民税課等、庁内関係部署との連携を図った。また、これまでの支援方法の弱点が見つかるなど、支援方法の見直しを検討するきっかけを得られた。	
実施結果	実績数値	決算 (千円)	目標達成のために要する年度単位	
DV対応情報交換会という形では特に実施しなかったが、関係する課が複数にまたがる場合、担当者を集め、ケースカンファレンスを行った。	状況に応じて開催	-	<input checked="" type="checkbox"/> 年度ごと	<input type="checkbox"/> 複数年度単位 年
			今年度における達成状況	目標に対する達成状況
			A	A

○ 今年度予定（平成 30 年度）

活動内容	予定数値	予算 (千円)
個別のケースに迅速かつ的確に対応するため、DV対応情報交換会を開催し、関係機関との情報共有のため連携を図るが、必要時以外は多くの関係機関を招集する交換会は開催せず、随時、小規模のケースカンファレンスを行っていく。	状況に応じて開催	-

○ 今後の目標及び計画値

平成27年度まで
DV対応情報交換会を必要に応じて開催。関係各機関との随時、連絡体制を強化する。
平成32年度まで
DV対応情報交換会を必要に応じて開催。関係各機関との随時、連絡体制を強化する。

協議会評価	協議会コメント
A	非常に良好な状態であると思われる。この状態を次年度以降も継続していけるよう努めていくこと。

ざま男女共同参画プラン実施状況報告書

【Ⅱ－１－（１） 広聴人権課】

【人権の尊重】

重点目標

Ⅱ 異性に対する暴力の根絶と人権の尊重

担当部署

市民部

基本的方向

広聴人権課

1 異性への暴力防止と根絶への取組の推進

具体的方向

(1) 異性への暴力防止のための取組の推進

事業名		事業概要	
③ 異性への暴力防止の意識啓発		セクシュアル・ハラスメント等防止のための啓発の実施	
現状	随時実施	目標	市独自の啓発冊子300部作成 研修会の開催

○ 前年度実績（平成 29 年度）

※予定数値及び実績数値は実数値を入力

活動内容	予定数値	予算 (千円)	担当課による事業の評価及び今後の課題	
啓発冊子を新たに作成し、配布する。また、内容については、セクシュアル・ハラスメントやパワー・ハラスメント、ワークライフバランスの視点も取り入れる。 職員研修を実施して、職員の男女共同参画についての意識啓発に努める。	啓発冊子 300部 研修会 年1回	-	平成29年度は、新規採用職員を対象に、男女共同参画・DV・ハラスメント等について広く触れ、男女共同参画や職場内でのハラスメントについてなど、啓発が出来た。 平成29年度に作成した啓発冊子の効率的な利用について検討する。	
実施結果	実績数値	決算 (千円)	目標達成のために要する年度単位	
啓発冊子を新たに作成し、ふるさと祭で配布した。職員研修は新人職員に対して実施し、男女共同参画や職場内でのセクシュアル・ハラスメントや、パワー・ハラスメントについてなど、啓発が出来た。	啓発冊子 300部 研修会 年1回	-	<input checked="" type="checkbox"/> 年度ごと <input type="checkbox"/> 複数年度単位 年	
			今年度における達成状況	目標に対する達成状況
			A	A

○ 今年度予定（平成 30 年度）

活動内容	予定数値	予算 (千円)
平成29年度に作成した啓発冊子をふるさとまつりや男女講座時に配布する。 職員研修を実施して、職員の男女共同参画についての意識啓発に努める	啓発冊子 400部 研修会 年1回	-

○ 今後の目標及び計画値

平成27年度まで
啓発冊子の作成について内容検討。職員研修を定期的に開催する。
平成32年度まで
啓発冊子を300部程度作成し、内容については法律改正時などに見直しを図る。 研修を実施して、職員及び一般の意識啓発に努める

協議会評価	協議会コメント
A	非常に良好な状態であると思われる。この状態を次年度以降も継続していけるよう努めていくこと。

【人権の尊重】

重点目標

Ⅱ 異性に対する暴力の根絶と人権の尊重

担当部署

市民部

基本的方向

広聴人権課

1 異性への暴力防止と根絶への取組の推進

具体的方向

(1) 異性への暴力防止のための取組の推進

事業名	事業概要
③ 異性への暴力防止の意識啓発	県等で開催される講座の情報提供

現状	随時実施	目標	随時、遅滞なく提供する

○ 前年度実績（平成 29 年度）

※予定数値及び実績数値は実数値を入力

活動内容	予定数値	予算 (千円)	担当課による事業の評価及び今後の課題				
県や、県内市町村で開催される講座情報等を情報コーナーに配架する。	-	-	これまで以上に、多くの人が相談案内カードを手にする機会を増やせた。				
実施結果	実績数値	決算 (千円)	目標達成のために要する年度単位				
郵送されたものや研修・勉強会にて依頼若しくは取得した資料やチラシについて、随時配架したほか、11月の女性に対する暴力をなくす運動期間中に、市役所1階戸籍住民課前に特設ブースを設け、配架した。 さらに、平成29年度から座間総合病院からの提案もあり、相談案内カードを置いた。 また、男性が被害者となることも考え、市役所内の男子トイレに相談案内カードを置いた。	左記のとおり	-	<input checked="" type="checkbox"/> 年度ごと <input type="checkbox"/> 複数年度単位 年 <table border="1"> <thead> <tr> <th>今年度における達成状況</th> <th>目標に対する達成状況</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>A</td> <td>A</td> </tr> </tbody> </table>	今年度における達成状況	目標に対する達成状況	A	A
今年度における達成状況	目標に対する達成状況						
A	A						

○ 今年度予定（平成 30 年度）

活動内容	予定数値	予算 (千円)
県や、県内市町村で開催される講座情報等を情報コーナーに配架する。また、DVIに関する冊子を作成する。	-	-

○ 今後の目標及び計画値

平成27年度まで
情報コーナーの人権・男女共同参画コーナーの拡充を行う。
平成32年度まで
庁内の関係課に広く情報提供を行い、異性への暴力防止の意識啓発の効果を高める。

協議会評価	協議会コメント
A	非常に良好な状態であると思われる。この状態を次年度以降も継続していけるよう努めていくこと。

【人権の尊重】

重点目標

Ⅱ 異性に対する暴力の根絶と人権の尊重

担当部署

市民部

基本的方向

2 様々な人権を守るための取組

広聴人権課

具体的方向

(2) 有害情報等による被害防止のための取組

事業名		事業概要	
① 情報の正しい認識力を高める学習機会の提供		メディア製作者への性差別意識是正のための取組	
現状	広報等での表現やイラスト等のチェック	目標	広報等での表現やイラスト等のチェック、または事前に講座等でこれらについて職員に指導していく

○ 前年度実績（平成 29 年度）

※予定数値及び実績数値は実数値を入力

活動内容	予定数値	予算 (千円)	担当課による事業の評価及び今後の課題	
広報ざま及び市ホームページ等の表現やイラスト等の使用について確認し、必要に応じて差し替えの指示を出す。	適宜助言を行う。	-	校正時に原稿を確認し、表現やイラスト等のチェックを適正に実施できた。この事業を継続して行ってきたことにより、訂正依頼する回数が減少してきた。今後も、市のホームページや、広報紙を確認していく。	
実施結果	実績数値	決算 (千円)	目標達成のために要する年度単位	
広報紙やホームページについて、表現やイラスト等に男女の偏りが出ないよう、確認及び訂正の助言を行った。	適宜助言を行う。	-	<input checked="" type="checkbox"/> 年度ごと <input type="checkbox"/> 複数年度単位 年	
			今年度における達成状況	目標に対する達成状況
			A	A

○ 今年度予定（平成 30 年度）

活動内容	予定数値	予算 (千円)
引き続き、広報ざま及び市ホームページ等の表現やイラスト等の使用について確認及び、必要に応じて差し替えの指示を出す。	適宜助言を行う。	-

○ 今後の目標及び計画値

平成27年度まで
引き続き、広報ざま及び市ホームページ等のイラストや写真の使用について必要に応じて差し替えの指示を出す。チラシ講座の開催。
平成32年度まで
広報ざま及び市ホームページ等の表現やイラスト等について必要に応じて差し替えの指示を出す。また、これ以外にも市が出している広報物についてできる限りチェックを行う。

協議会評価	協議会コメント
A	非常に良好な状態であると思われる。この状態を次年度以降も継続していけるよう努めていくこと。

【意識啓発】

重点目標

担当部署

Ⅲ 男女共同参画社会づくりに向けた意識啓発

市民部

基本的方向

広聴人権課

2 男女平等意識の普及啓発の推進

具体的方向

(1) 男女共同参画に関する情報の収集と提供

事業名	事業概要		
① 男女共同参画に関する意識啓発の実施	男女共同参画に関する講座の実施		
現状	年2回	目標	年2回

○ 前年度実績（平成 29 年度）

※予定数値及び実績数値は実数値を入力

活動内容	予定数値	予算 (千円)	担当課による事業の評価及び今後の課題	
男女共同参画講座を実施する。	年2回	172	実習形式の講座を2回実施し、うち1回は男性を対象にした講座を行った。カジ男養成講座は、次年度も内容を変え、継続して行っていきたい。	
実施結果	実績数値	決算 (千円)	目標達成のために要する年度単位	
講座の内容を、実習形式とし、①10月24日(土)「女性のためのパソコン講座」、②3月3日(土)「カジ男養成講座(洗濯編)」を実施し、好評を得た。	年2回 ①18名 ②10名	172	<input checked="" type="checkbox"/> 年度ごと <input type="checkbox"/> 複数年度単位 年	
			今年度における達成状況	目標に対する達成状況
			A	A

○ 今年度予定（平成 30 年度）

活動内容	予定数値	予算 (千円)
県と共催及び座間市男女共同参画推進委員会と共催で男女共同参画講座を実施する。 年3回開催 50人 対象: 市民・職員	年3回 50人	172

○ 今後の目標及び計画値

平成27年度まで
男女共同参画講座を実施する。 年3回開催 50人 対象: 市民
平成32年度まで
男女共同参画講座を実施する。 年3回実施 100人 対象: 市民

協議会評価	協議会コメント
A	非常に良好な状態であると思われる。この状態を次年度以降も継続していけるよう努めていくこと。

ざま男女共同参画プラン実施状況報告書

【Ⅲ－２－（１） 広聴人権課】

【意識啓発】

重点目標

担当部署

Ⅲ 男女共同参画社会づくりに向けた意識啓発

市民部

基本的方向

広聴人権課

2 男女平等意識の普及啓発の推進

具体的方向

(1) 男女共同参画に関する情報の収集と提供

事業名		事業概要	
① 男女共同参画に関する意識啓発の実施		男女共同参画に関する講演会の実施	
現状	年1回実施	目標	年1回実施、250人以上の市民参加

○ 前年度実績（平成 29 年度）

※予定数値及び実績数値は実数値を入力

活動内容	予定数値	予算(千円)	担当課による事業の評価及び今後の課題	
座間市男女共同参画推進委員会との共催であくしゅフォーラムを開催する 年1回開催 300人 対象: 市民	年1回 300人	370	昨年度同様、地域の情報誌等を活用し、広範囲に講演会の宣伝ができた。 また、新たに市のツイッターでの告知を行った。 講演内容は好評を頂いたが、目標数に届かなかったため、さらなる告知方法を検討する。	
実施結果	実績数値	決算(千円)	目標達成のために要する年度単位	
座間市男女共同参画推進委員会との共催で、6月17日(土)にあくしゅフォーラムを開催した。 年1回開催 242人 対象: 市民 講師: 海原純子氏(心療内科医)	年1回 242人	370	<input checked="" type="checkbox"/> 年度ごと <input type="checkbox"/> 複数年度単位	年
			今年度における達成状況	目標に対する達成状況
			B	B

○ 今年度予定（平成 30 年度）

活動内容	予定数値	予算(千円)
座間市男女共同参画推進委員会との共催であくしゅフォーラムを開催する 年1回開催 300人 対象: 市民	年1回 300人	370

○ 今後の目標及び計画値

平成27年度まで
男女共同参画講演会を実施する。 年1回開催 250人 対象: 市民
平成32年度まで
男女共同参画講演会を実施する。 年1回開催 300人 対象: 市民

協議会評価	協議会コメント
A	現時点では目標達成しているが、将来的に課題が見えてくるのが考えられるため、これに備えること。

【意識啓発】

重点目標

担当部署

Ⅲ 男女共同参画社会づくりに向けた意識啓発

市民部

基本的方向

広聴人権課

2 男女平等意識の普及啓発の推進

具体的方向

(1) 男女共同参画に関する情報の収集と提供

事業名	事業概要		
① 男女共同参画に関する意識啓発の実施	男女共同参画についての情報紙の発行		
現状	年1回 47,000部	目標	年1回 47,000部

○ 前年度実績（平成 29 年度）

※予定数値及び実績数値は実数値を入力

活動内容	予定数値	予算(千円)	担当課による事業の評価及び今後の課題	
男女共同参画情報紙の発行 年1回 47,000部 新聞折込、ポスティングによる全戸配布及び公共機関に配架	年1回 47,000部	676	予定通りに遂行できた。残数については、H30、31年度のあくしゅフォーラムで配布する予定。また、新たな配架先として、イオンモール座間に配架の依頼が出来た。	
実施結果	実績数値	決算(千円)	目標達成のために要する年度単位	
3月15日に男女共同参画情報紙「あくしゅ」を発行。43,100部を新聞折込、3,404部をポスティングによる配布。これと併せて各公共機関に配架した。	年1回 47,000部	595	<input checked="" type="checkbox"/> 年度ごと <input type="checkbox"/> 複数年度単位 年	
			今年度における達成状況	目標に対する達成状況
			A	A

○ 今年度予定（平成 30 年度）

活動内容	予定数値	予算(千円)
男女共同参画情報紙の発行 年1回 47,000部 新聞折込、ポスティングによる全戸配布及び公共機関に配架する。	年1回 47,000部	717

○ 今後の目標及び計画値

平成27年度まで
男女共同参画情報紙の発行 年1回 48,000部 新聞折込とポスティングによる配布及び公共機関に配架
平成32年度まで
男女共同参画情報紙の発行 年1回 47,000部 新聞折込とポスティングによる配布及び公共機関に配架。この他にも配架先を検討する

協議会評価	協議会コメント
A	非常に良好な状態であると思われる。この状態を次年度以降も継続していけるよう努めていくこと。

【意識啓発】

重点目標

担当部署

Ⅲ 男女共同参画社会づくりに向けた意識啓発

市民部

基本的方向

広聴人権課

2 男女平等意識の普及啓発の推進

具体的方向

(1) 男女共同参画に関する情報の収集と提供

事業名	事業概要
① 男女共同参画に関する意識啓発の実施	男女共同参画に関する学習情報の収集と提供

現状	随時実施	目標	随時実施

○ 前年度実績（平成 29 年度）

※予定数値及び実績数値は実数値を入力

活動内容	予定数値	予算 (千円)	担当課による事業の評価及び今後の課題	
情報コーナーに講座等のチラシを配架するとともに、ホームページ等での推進状況の周知とは別に、男女共同参画週間特設ブースを設けるなど、より多くの市民に周知できるよう方法を検討する。また、男女共同参画に関する書籍について、常に新しい情報を得られるよう、書籍の購入をしていく。	-	2	チラシの配架、書籍の購入が出来た。情報拡散の方法として市ホームページの他、市ツイッター等も活用していく。	
実施結果	実績数値	決算 (千円)	目標達成のために要する年度単位	
チラシの配架、書籍の購入を行った。男女共同参画週間に特設コーナーを設け、ワークライフバランスに関するDVDを上映。広報さまで周知し、市の男女共同参画推進に向けた取り組みに関してはホームページにも掲載した。	-	2	<input checked="" type="checkbox"/> 年度ごと <input type="checkbox"/> 複数年度単位	年
			今年度における達成状況	目標に対する達成状況
			A	A

○ 今年度予定（平成 30 年度）

活動内容	予定数値	予算 (千円)
情報コーナーに講座等のチラシを配架するとともに、ホームページ等での推進状況の周知とは別に、男女共同参画週間特設ブースを設けるなど、より多くの市民に周知できるよう方法を検討する。また、男女共同参画に関する書籍について、常に新しい情報を得られるよう、書籍の購入をしていく。	-	2

○ 今後の目標及び計画値

平成27年度まで
情報コーナーの人権・男女共同参画コーナーの拡充を行う。
平成32年度まで
情報コーナーの人権・男女共同参画コーナーの拡充と、男女共同参画週間特設ブースを設けるなど、広く市民に情報提供できるようにする。

協議会評価	協議会コメント
A	非常に良好な状態であると思われる。この状態を次年度以降も継続していけるよう努めていくこと。

【意識啓発】

重点目標

担当部署

Ⅲ 男女共同参画社会づくりに向けた意識啓発

市民部

基本的方向

広聴人権課

2 男女平等意識の普及啓発の推進

具体的方向

(1) 男女共同参画に関する情報の収集と提供

事業名	事業概要		
① 男女共同参画に関する意識啓発の実施	男女共同参画に関する職員研修の実施		
現状	年1回	目標	年1回

○ 前年度実績（平成 29 年度）

※予定数値及び実績数値は実数値を入力

活動内容	予定数値	予算 (千円)	担当課による事業の評価及び今後の課題	
新規採用職員を対象とした研修を開催する。	年1回	-	新規採用職員が、各自担当課に戻り、講演会等を企画する際に、子どものいる方に対してどのように考えるかなど、日々の業務において男女共同参画の視点を頭に入れてもらえるような研修にした。	
実施結果	実績数値	決算 (千円)	目標達成のために要する年度単位	
平成29年度は、新規採用職員を対象に、男女共同参画の啓発が出来た。	年1回 対象者 26名	-	<input checked="" type="checkbox"/> 年度ごと <input type="checkbox"/> 複数年度単位 年	
			今年度における達成状況	目標に対する達成状況
			A	A

○ 今年度予定（平成 30 年度）

活動内容	予定数値	予算 (千円)
新規採職員を対象とした男女共同参画に関する研修を開催する。	年1回	-

○ 今後の目標及び計画値

平成27年度まで
年1回開催 対象：新規採用職員
平成32年度まで
年1回開催 対象：新規採用職員

協議会評価	協議会コメント
A	非常に良好な状態であると思われる。この状態を次年度以降も継続していけるよう努めていくこと。

ざま男女共同参画プラン実施状況報告書

【 I - 1 - (2) 商工観光課 】

【社会づくり】

重点目標

I ひとりひとりが多様な生き方を選択できる社会づくり

基本的方向

1 仕事と生活の調和が図れる環境の整備

具体的方向

(2) 男女共同参画に基づく適正な待遇の促進

担当部署

環境経済部

商工観光課

事業名	事業概要		
① 多様な働き方のできる職場環境整備の充実	事業所等における男女共同参画に関する取り組み事例の収集・提供		
現状	近隣市町の取組状況の把握に努めた。	目標	取組状況・事例を参考に事業所に情報を提供し、労働環境改善の周知を図る。

○ 前年度実績（平成 29 年度）

※予定数値及び実績数値は実数値を入力

活動内容	予定数値	予算 (千円)	担当課による事業の評価及び今後の課題		
県央地区市町労働行政連絡協議会において「男女共同参画に関する取り組み」を協議議題として掲げ情報収集を行ったほか、国、県等から送付されるリーフレット等を市内、商工会に提供し周知を図った。	4回/年	-	労働行政担当課としては、老若男女問わず労働者の権利を遵守し、安心して働ける労働環境の整備をする取り組みをしていく必要があるため、引続き国、県等から配架されるリーフレット等を配架し周知を図っていく。		
実施結果	実績数値	決算 (千円)	目標達成のために要する年度単位		
【事例収集】県央地区市町労働行政連絡協議会に加盟する自治体の労働担当課においては、労働事業全般に比重を置いており、男女共同参画促進事業を実施しているケースは少なく、当該事業は市民協働団体や男女共同参画団体が主体となっている事例が多かった。 【提供】労働者の権利について記載される労働法等(男女共同参画に関する内容含む)や女性活躍推進法に関するリーフレット等を関係各所に配架し周知を図った。	2回	-	<input checked="" type="checkbox"/> 年度ごと <input type="checkbox"/> 複数年度単位 年		
			今年度における達成状況	目標に対する達成状況	
			A A		

○ 今年度予定（平成 30 年度）

活動内容	予定数値	予算 (千円)
昨年度に引続き、男女共同参画を含む労働者全般の労働環境の整備、改善を図るため、国・県が送付するリーフレット等を関係各所に配架し、周知していく。		

○ 今後の目標及び計画値

平成27年度まで
収集した事例をまとめ、商工会を通じ市内事業所に情報提供していく。
平成32年度まで
リーフレット等の配架を通じ周知を行う。

協議会評価	協議会コメント
A	非常に良好な状態であると思われる。この状態を次年度以降も継続していけるよう努めていくこと。

ざま男女共同参画プラン実施状況報告書

【 I - 1 - (2) 商工観光課 】

【社会づくり】

重点目標

I ひとりひとりが多様な生き方を選択できる社会づくり

担当部署

環境経済部

基本的方向

1 仕事と生活の調和が図れる環境の整備

商工観光課

具体的方向

(2) 男女共同参画に基づく適正な待遇の促進

事業名	事業概要		
① 多様な働き方のできる職場環境整備の充実	男女共同参画に取り組む企業に対する表彰制度の検討		
現状	労働行政業務の一環として、男女共同参画にかかる表彰制度の必要性について検討を図った。	目標	他市の事例を収集し、男女共同参画に取り組む企業の実態や情報を取得する。

○ 前年度実績 (平成 29 年度)

※予定数値及び実績数値は実数値を入力

活動内容	予定数値	予算(千円)	担当課による事業の評価及び今後の課題				
県央地区市町労働行政連絡協議会において「男女共同参画に関する取り組み」を協議議題として掲げ、表彰制度の有無について情報収集を行った。	4回/年	-	労働行政担当課としては老若男女問わず労働者の権利を遵守し安心して働ける労働環境の整備をする取り組みをしていく必要があるため、近隣他市の労働担当課の状況も加味して検討した結果、男女共同参画のみに特化した表彰制度は当課が実施すべき業務かどうかの余地がある。				
実施結果	実績数値	決算(千円)	目標達成のために要する年度単位				
労働行政協議会に加盟している各市の労働担当課においては、労働事業全般に比重を置いており、男女共同参画促進事業を実施しているケースは少なく、当該事業は市民協働団体や男女共同参画団体が主体となっている事例が多い。			<input checked="" type="checkbox"/> 年度ごと <input type="checkbox"/> 複数年度単位 年				
			<table border="1"> <tr> <th>今年度における達成状況</th> <th>目標に対する達成状況</th> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">B</td> <td style="text-align: center;">B</td> </tr> </table>	今年度における達成状況	目標に対する達成状況	B	B
今年度における達成状況	目標に対する達成状況						
B	B						

○ 今年度予定 (平成 30 年度)

○ 今後の目標及び計画値

活動内容	予定数値	予算(千円)	計画
昨年度、県央地区市町労働行政連絡協議会にて「男女共同参画に関する取り組み」を情報収集した結果、男女共同参画推進事業は、市民協働団体や男女共同参画団体が実施しているケースが多いことや、労働行政所管課は労働者全般を対象に働きやすい労働環境の整備等に主眼を置くことが重要であり、特定分野の表彰制度は当課の事業として積極的に取り組むものではないと考えるところから、検討の終了を以て事業を廃止する。	-	-	平成27年度まで 平成27年度に実施できるように制度化を進める。 平成32年度まで 事業を廃止する。

協議会評価	協議会コメント
B	次年度は、最終的な活動報告を求める。

ざま男女共同参画プラン実施状況報告書

【 I - 1 - (3) 健康づくり課 】

【社会づくり】

重点目標

I ひとりひとりが多様な生き方を選択できる社会づくり

基本的方向

1 仕事と生活の調和が図れる環境の整備

具体的方向

(3) 男女の生涯にわたる健康支援

担当部署

健康部

健康づくり課

事業名		事業概要	
② 保健、医療対策の充実		妊娠・出産に関わる事業の実施	
現状	185人	目標	妊婦の歯科健康管理の機会の確保

○ 前年度実績（平成 29 年度）

※予定数値及び実績数値は実数値を入力

活動内容	予定数値	予算 (千円)	担当課による事業の評価及び今後の課題	
母子健康手帳交付時に、妊婦歯科健康診査受診券(受診時期:妊娠16週～27週)を発行。妊婦健康診査費用補助券の冊子に受診券を綴じ込み、妊婦健康診査と合わせて受診勧奨に努めている。	300人	2,144	受診率向上のため、母子健康手帳交付時の当事業の案内の徹底、市ホームページの他、市広報、保健衛生のお知らせに掲載、。平成29年度から周知の拡大を目的として、産科医療機関へポスター掲示依頼をした。また、システムへの移行を検討した。	
実施結果	実績数値	決算 (千円)	目標達成のために要する年度単位	
母子健康手帳交付時に、妊婦歯科健康診査受診券(受診時期:妊娠16週～27週)を発行。	185人	1,346	<input checked="" type="checkbox"/> 年度ごと <input type="checkbox"/> 複数年度単位 年	
			<table border="1"> <tr> <th>今年度における達成状況</th> <th>目標に対する達成状況</th> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">A</td> <td style="text-align: center;">A</td> </tr> </table>	今年度における達成状況
今年度における達成状況	目標に対する達成状況			
A	A			

○ 今年度予定（平成 30 年度）

活動内容	予定数値	予算 (千円)
母子健康手帳交付時に、妊婦歯科健康診査受診券を発行。妊婦健康診査費用補助券の冊子に受診券を綴じ込み、妊婦健康診査と合わせて受診勧奨に努める。受診時期を妊娠16週～27週で限定せず、体調に合わせて受診できるよう変更した。	300人	2,144

○ 今後の目標及び計画値

平成27年度まで
妊婦の健康管理の徹底を図り、費用負担の軽減のため事業は継続予定である。
平成32年度まで
事業の実施状況(健診データや受診率など)を蓄積し、妊婦の歯科支援体制を整備する。また、受診率向上のため周知する。

協議会評価	協議会コメント
A	非常に良好な状態であると思われる。この状態を次年度以降も継続していけるよう努めていくこと。

ざま男女共同参画プラン実施状況報告書

【 I - 1 - (3) 健康づくり課 】

社会づくり

重点目標

I ひとりひとりが多様な生き方を選択できる社会づくり

基本的方向

1 仕事と生活の調和が図れる環境の整備

具体的方向

(3) 男女の生涯にわたる健康支援

担当部署

健康部

健康づくり課

事業名	事業概要
② ことごとからだの健康に関する意識啓発や支援の充実	自らの健康を守るための取組

現状	実施回数122回 参加者延べ数1,557人	目標	参加者数の増加
----	-----------------------	----	---------

○ 前年度実績 (平成 29 年度)

※予定数値及び実績数値は実数値を入力

活動内容	予定数値	予算(千円)	担当課による事業の評価及び今後の課題				
<ul style="list-style-type: none"> ・ヘルスセミナー(講演):乳がんについて～ ・ヘルスセミナー(講演):サプリメントについて ・ヘルスセミナー(講演):生活習慣病について～健診でメタボと言われたら ・ストップ!メタボ～きょうから始める運動習慣～ ・おいしい減塩～全ての生活習慣病は腎臓に通ず～ ・楽うま!ちゃちゃっとおかずづくり ・目指せ!骨★元気 ・慢性腎臓病予防 ・座間市保健指導 ・歯科啓発事業 	1,000人	1,659	若い世代への健康増進のための動機付けを目的に、子育て支援センターなど開催場所や周知の方法を工夫し、65歳未満の参加者が増加した。今後は慢性腎臓病予防だけではなく、糖尿病性腎症の重症化予防に対する健康教育を行う。				
実施結果	実績数値	決算(千円)	目標達成のために要する年度単位				
<ul style="list-style-type: none"> ・ヘルスセミナー(講演):乳がんについて～ 1回 ・ヘルスセミナー(講演):サプリメントについて 1回 ・ヘルスセミナー(講演):生活習慣病について～健診でメタボと言われたら 1回 ・ストップ!メタボ～きょうから始める運動習慣～ 2日間コース4回 ・おいしい減塩～全ての生活習慣病は腎臓に通ず～ 2日間コース2回 ・楽うま!ちゃちゃっとおかずづくり 3回 ・目指せ!骨★元気 8回 ・慢性腎臓病予防 12回 ・座間市保健指導 20回 ・歯科啓発事業 10回 他、依頼の健康教育等46回 	1557人	1,331	<input checked="" type="checkbox"/> 年度ごと <input type="checkbox"/> 複数年度単位 年 <table border="1"> <tr> <th>今年度における達成状況</th> <th>目標に対する達成状況</th> </tr> <tr> <td>A</td> <td>A</td> </tr> </table>	今年度における達成状況	目標に対する達成状況	A	A
今年度における達成状況	目標に対する達成状況						
A	A						

○ 今年度予定 (平成 30 年度)

活動内容	予定数値	予算(千円)
<ul style="list-style-type: none"> ・ヘルスセミナー(講演):乳がんについて～ 1回 ・ヘルスセミナー(講演):大腸がんについて 1回 ・ストップ!メタボ 2日間コース3回 ・放置しないで高血糖～血糖値が気になる方へ～2日間コース2回 ・かんたん料理で健康づくり 3回 ・目指せ!骨★元気 8回 ・慢性腎臓病予防 14回 訪問7回 ・座間市保健指導 24回 ・歯科啓発事業 14回 ・心の健康講座 3回1コース 	1,640人	1,762

○ 今後の目標及び計画値

平成27年度まで	生活習慣病による死亡割合:53%
平成32年度まで	生活習慣病による死亡割合:49%

協議会評価	協議会コメント
A	非常に良好な状態であると思われる。この状態を次年度以降も継続していけるよう努めていくこと。

【社会づくり】

重点目標

I ひとりひとりが多様な生き方を選択できる社会づくり

基本的方向

1 仕事と生活の調和が図れる環境の整備

具体的方向

(4) 様々な生活環境への支援

担当部署

健康部

健康づくり課

事業名	事業概要
③ 家庭生活の男女による協力の啓発	ワークライフバランスと子育ての公的支援

現状	4日間1コースで、6コース実施 うち3コースは土曜コース	目標	参加者数の増加、仕事をしている夫婦でも参加しやすい体制づくり
----	---------------------------------	----	--------------------------------

○ 前年度実績（平成 29 年度）

※予定数値及び実績数値は実数値を入力

活動内容	予定数値	予算 (千円)	担当課による事業の評価及び今後の課題	
4日間1コースで、6コース(定員25名)実施する。妊娠35週までの妊婦を受け入れる。土曜日開催もあり、父親の参加を促す。引き続き、歯科衛生士、助産師、栄養士、による講義内容を組み込む。	左記	185	参加者は前年度からは減少した。土曜コースを開始したことにより、夫の1～3日目の参加は増加した。参加者に対して、参加しやすい日程等をアンケートで把握し、今後の事業運営に反映させる必要がある。	
実施結果	実績数値	決算 (千円)	目標達成のために要する年度単位	
4日間1コースで、6コース実施した。 参加者数:妊婦実数116人(延べ407人) 夫実数101人(延べ183人) 合計参加者数:217人(延べ590人)	左記	185	<input checked="" type="checkbox"/> 年度ごと <input type="checkbox"/> 複数年度単位 年	
			今年度における達成状況	目標に対する達成状況
			B	B

○ 今年度予定（平成 30 年度）

活動内容	予定数値	予算 (千円)
4日間1コースとし、6コース開催のうち3コースは土曜日のみのコースとする。参加した妊婦と夫の理解度、参加しやすい日程等の意見をアンケートにて把握し、次年度の事業運営検討する。	左記	217

○ 今後の目標及び計画値

平成27年度まで
できるだけ多くの妊婦や父親が出産・産後の育児をイメージし、それに向けての気持ちの準備ができような受講内容を提供する。
平成32年度まで
初めて子育てをする両親がお互いを尊重し家族で支えあい出産・育児の準備ができるよう講義内容や受講環境を整える。

協議会評価	協議会コメント
A	非常に良好な状態であると思われる。この状態を次年度以降も継続していけるよう努めていくこと。

ざま男女共同参画プラン実施状況報告書

【 I - 1 - (4) 健康づくり課 】

【社会づくり】

重点目標

I ひとりひとりが多様な生き方を選択できる社会づくり

基本的方向

1 仕事と生活の調和が図れる環境の整備

具体的方向

(4) 様々な生活環境への支援

担当部署

健康部

健康づくり課

事業名		事業概要	
保健、医療対策の充実		妊娠・出産に関わる事業の実施	
現状	10,922人	目標	妊婦の健康管理の機会の確保

○ 前年度実績 (平成 29 年度)

※予定数値及び実績数値は実数値を入力

活動内容	予定数値	予算 (千円)	担当課による事業の評価及び今後の課題				
母子健康手帳交付時に、妊婦健康診査費用補助券(14回分)を発行。	12550人	50,950	母子健康手帳交付数が25件((前年度比103%)増加した。また、補助券を14回目まで使用している妊婦も389人(前年度比109%)と増加した。妊娠期間に比べ使用回数が少ない方に対し、今後必要な妊婦健診が受診されるよう、受診率の向上のため、母子健康手帳交付時の当事業の案内の徹底、市ホームページの他、市広報、保健衛生のお知らせで掲載、周知していく。				
実施結果	実績数値	決算 (千円)	目標達成のために要する年度単位				
母子健康手帳交付時に、妊婦健康診査費用補助券(14回分)を発行。次年度分の妊婦健康診査費用補助券を前年度予算で作成しているが、昨年度より見やすい冊子を作成・配布してくれる業者と協定を結んだ。(有料広告入りで無償)	10,922人	51,018	<input checked="" type="checkbox"/> 年度ごと <input type="checkbox"/> 複数年度単位 年 <table border="1"> <tr> <td>今年度における達成状況</td> <td>目標に対する達成状況</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">A</td> <td style="text-align: center;">A</td> </tr> </table>	今年度における達成状況	目標に対する達成状況	A	A
今年度における達成状況	目標に対する達成状況						
A	A						

○ 今年度予定 (平成 30 年度)

活動内容	予定数値	予算 (千円)
母子健康手帳交付時に妊婦健康診査費用補助券(14回分)を発行。(補助回数、金額は維持する) また、現行の妊婦健康診査費用補助券の印刷製本は、予算の削減になるため今後も昨年度依頼した業者との協定を継続する。	11560人	51,692

○ 今後の目標及び計画値

平成27年度まで
妊婦の健康管理の徹底を図り、費用負担の軽減のため事業は継続予定である。
平成32年度まで
母子健康手帳交付時に母子保健コーディネーターが面接をし、使用方法などを詳細に説明する。

協議会評価	協議会コメント
A	非常に良好な状態であると思われる。この状態を次年度以降も継続していけるよう努めていくこと。

【社会づくり】

重点目標

I ひとりひとりが多様な生き方を選択できる社会づくり

担当部署

健康部

基本的方向

1 仕事と生活の調和が図れる環境の整備

医療課

具体的方向

(3) 男女の生涯にわたる健康支援

事業名	事業概要
② ころとからだの健康に関する意識啓発や支援の充実	24時間健康電話相談の実施

現状	外部委託により実施中	目標	継続実施

○ 前年度実績（平成 29 年度）

※予定数値及び実績数値は実数値を入力

活動内容	予定数値	予算(千円)	担当課による事業の評価及び今後の課題				
座間市在宅者世帯主及びその同居家族からの健康、医療、福祉、介護及び病院情報等に関する電話相談に対して、保健師、看護師、管理栄養士等の有資格者が相談を受ける。	10,000	4,083	本事業が市民に浸透してきており、多数の市民に利用していただいております。市民の健康維持等に寄与できている。 利用者の増加により、委託による事業費の増加が見込まれているものの今後ともサービスの維持を図りつつ市民周知に努めていく。				
実施結果	実績数値	決算(千円)	目標達成のために要する年度単位				
平成29年度の相談実績は21,621件であった。このうち、健康、福祉、介護関係の電話相談は18,911件、精神に関するメンタルヘルス相談は2,710件であった。	21,621	4,083	<input checked="" type="checkbox"/> 年度ごと <input type="checkbox"/> 複数年度単位 年				
			<table border="1"> <thead> <tr> <th>今年度における達成状況</th> <th>目標に対する達成状況</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td style="text-align: center;">A</td> <td style="text-align: center;">A</td> </tr> </tbody> </table>	今年度における達成状況	目標に対する達成状況	A	A
今年度における達成状況	目標に対する達成状況						
A	A						

○ 今年度予定（平成 30 年度）

活動内容	予定数値	予算(千円)
座間市在宅者世帯主及びその同居家族からの健康、医療、福祉、介護及び病院情報等に関する電話相談に対して、保健師、看護師、管理栄養士等の有資格者が相談を受ける。	15,000	7,825

○ 今後の目標及び計画値

平成27年度まで
引き続き外部委託により事業を行っていく件数8,036件
平成32年度まで
引き続き外部委託により事業を行っていく件数15,000件

協議会評価	協議会コメント
A	非常に良好な状態であると思われる。この状態を次年度以降も継続していけるよう努めていくこと。

【社会づくり】

重点目標

I ひとりひとりが多様な生き方を選択できる社会づくり

担当部署

子ども未来部

基本的方向

子ども育成課

1 仕事と生活の調和が図れる環境の整備

具体的方向

(4) 様々な生活環境への支援

事業名	事業概要
① 公的サービスの充実	各種子育て、保育サービスの実施

現状	市内14カ所で児童ホームを運営	目標	利用者のニーズにあった児童ホームの運営
----	-----------------	----	---------------------

○ 前年度実績（平成 29 年度）

※予定数値及び実績数値は実数値を入力

活動内容	予定数値	予算 (千円)	担当課による事業の評価及び今後の課題	
引き続き市内14カ所の適切な児童ホームの運営に努めるとともに、入谷小、座間小学校区において待機児童が増加傾向にあるため、この地域の待機児童の動向を注視しつつ解消策についても検討をしていく。	720人 (定員数)	144,399	待機用児童ホームの無い入谷小、座間小学校区の待機児童解消策をH30年度入所から図る事が出来た。 年度によって学区内の入所申込み者数に変動があり、定員に余裕のある児童ホームがある一方、待機児童がいる児童ホームもあり、今後の状況を引き続き注視していく必要がある。	
実施結果	実績数値	決算 (千円)	目標達成のために要する年度単位	
待機用児童ホームの無い入谷小、座間小学校区の待機児童解消策として、H30年4月から新たに民設民営の児童ホームが開設されることとなった。	612人 (年間平均)	141,047	<input type="checkbox"/> 年度ごと <input checked="" type="checkbox"/> 複数年度単位 5 年	
			今年度における達成状況	目標に対する達成状況
			B	B

○ 今年度予定（平成 30 年度）

活動内容	予定数値	予算 (千円)
引き続き市内14カ所の公設児童ホーム及び民設民営施設の適切な運営に努めるとともに、相模が丘小、相模野小学校区において待機児童が増加傾向にあるため、この地域の待機児童の動向を注視しつつ解消策についても検討をしていく。	800人 (定員数)	159,208

○ 今後の目標及び計画値

平成27年度まで	子ども子育て支援事業計画に基づき計画遂行し待機児童の解消に向けた施策を推進する。
平成32年度まで	子ども・子育て支援事業計画に基づき計画遂行し、待機児童の解消に向けた施策を推進する。

協議会評価	協議会コメント
B	目標達成に向けて必要な考察・改善を行っていくこと。

【社会づくり】

重点目標

I ひとりひとりが多様な生き方を選択できる社会づくり

担当部署

子ども未来部

基本的方向

子ども政策課

1 仕事と生活の調和が図れる環境の整備

具体的方向

(4) 様々な生活環境への支援

事業名	事業概要
② 地域支援サービスの充実	児童施設等の充実

現状	相談指導を随時実施	目標	相談業務体制の充実
----	-----------	----	-----------

○ 前年度実績（平成 29 年度）

※予定数値及び実績数値は実数値を入力

活動内容	予定数値	予算 (千円)	担当課による事業の評価及び今後の課題	
各子育て支援センターにおいて、子育て家庭が抱える育児不安等の解消を図るため、母や子どもたちの交流の場になることや、相談・指導等子育て支援を実施する。	のべ相談者数 1,900人	36,422	子育て家庭が抱える育児等の不安の解消や負担の軽減を図るために、子育て支援センターにおいて、相談・指導等の子育て支援を実施することができた。 第3支援センターは多くのメディアにも取り上げられ、育児等の不安や負担を軽減するための場所として認知度が上がったと考えている。	
実施結果	実績数値	決算 (千円)	目標達成のために要する年度単位	
各子育て支援センターにおいて、育児不安等の相談・指導を行い、孤独感や育児に悩む母親たちの子育て家庭が抱える育児等の不安の解消や負担の軽減を図ることができた。また、父子での来場者や、男性のみの相談もあった。また、月に1回、各支援センターの代表者を集め、当課職員も出席する報告会を行い、対応に苦慮する相談内容等については情報を共有した。	のべ相談者数 2,365人	36,244	<input type="checkbox"/> 年度ごと <input checked="" type="checkbox"/> 複数年度単位 5 年	
			今年度における達成状況	目標に対する達成状況
			A	A

○ 今年度予定（平成 30 年度）

活動内容	予定数値	予算 (千円)
子育て家庭が抱える育児等の不安の解消や負担の軽減を図るために、子育て支援センターにおいて、相談・指導等の子育て支援を実施する。相談・指導するにあたり、センター職員が対応に苦慮する相談があった場合には、支援センター報告会で情報共有し、対応していく。	のべ相談者数 2,400人	37,290

○ 今後の目標及び計画値

平成27年度まで
保育所の運営、子育て支援センターの運営などにより、子育てしやすいまちになってきていると思う市民の割合：30%
平成32年度まで
保育所の運営、子育て支援センターの運営などにより、子育てしやすいまちになってきていると思う市民の割合：40%

協議会評価	協議会コメント
A	非常に良好な状態であると思われる。この状態を次年度以降も継続していけるよう努めていくこと。

【人権の尊重】

重点目標

担当部署

Ⅱ 異性に対する暴力の根絶と人権の尊重

子ども未来部

基本的方向

子ども政策課

1 異性への暴力防止と根絶への取組の推進

具体的方向

(1) 異性への暴力防止のための取組の推進

事業名	事業概要
① 配偶者等、異性に対する暴力行為相談体制の充実	児童相談の充実

現状	目標
係長1名、専門相談員1名、保健師1名、係員1名で相談業務を行う	児童相談のスキルアップ

○ 前年度実績（平成 29 年度）

※予定数値及び実績数値は実数値を入力

活動内容	予定数値	予算(千円)	担当課による事業の評価及び今後の課題				
児童虐待相談対応の充実のため、神奈川県や県等が実施する研修等を受講し、専門相談員以外の職員についてもスキルアップを図る。	5人	6,128	児童福祉法改正に伴い、児童虐待相談も更に増加傾向となることが予想されるため、相談員を1名増員の予定であったが、応募がなかった。研修に積極的に参加し個人のスキルアップを図った。要保護児童等の対応について関係機関との連携を充実する。				
実施結果	実績数値	決算(千円)	目標達成のために要する年度単位				
児童虐待相談を受けるに当たり、訪問時の話題の切り出し方など、初歩的なことから各分野の研修を受講し、専門職及び専門職以外の職員においても相談対応のスキルアップに努めた。	4人	4,318	<input type="checkbox"/> 年度ごと <input checked="" type="checkbox"/> 複数年度単位 5 年 <table border="1"> <tr> <td>今年度における達成状況</td> <td>目標に対する達成状況</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">A</td> <td style="text-align: center;">A</td> </tr> </table>	今年度における達成状況	目標に対する達成状況	A	A
今年度における達成状況	目標に対する達成状況						
A	A						

○ 今年度予定（平成 30 年度）

活動内容	予定数値	予算(千円)
児童福祉法改正に伴い、児童虐待相談も更に増加傾向となることが予想される。児童相談業務の体制を充実させるため、専門相談員以外の職員についてもスキルアップを図る。また、児童福祉等専門職職員の増員を図る。	6人	8,886

○ 今後の目標及び計画値

平成27年度まで
今後相談件数は増加することが予想されるため、専門相談員以外の職員についてもスキルアップを図る。
平成32年度まで
児童相談業務の体制を充実させるため、専門相談員以外の職員についてもスキルアップを図る。また、児童福祉等専門職職員の増員を図る。

協議会評価	協議会コメント
A	非常に良好な状態であると思われる。この状態を次年度以降も継続していけるよう努めていくこと。

さま男女共同参画プラン実施状況報告書

【 I - 1 - (2) 保育課 】

【社会づくり】

重点目標

担当部署

I ひとりひとりが多様な生き方を選択できる社会づくり

子ども未来部

基本的方向

保育課

1 仕事と生活の調和が図れる環境の整備

具体的方向

(2) 男女共同参画に基づく適正な待遇の促進

事業名	事業概要
① 多様な働き方のできる職場環境整備の充実	仕事と生活の調和(ワーク・ライフ・バランス)に関する意識啓発の実施

現状	目標
市内の公・私立保育園で育児相談事業を展開している。	各保育園で統一した育児相談事業を随時実施する。

○ 前年度実績 (平成 29 年度)

※予定数値及び実績数値は実数値を入力

活動内容	予定数値	予算(千円)	担当課による事業の評価及び今後の課題				
男女がともに仕事と育児の両立ができるように、父親も気軽に保育園で育児相談等ができる環境を整える。	22園	-	当初予定していたよりも2園増で相談環境の充実を図ることができた。今後も育児相談等を行う体制を、継続して推進する必要がある。				
実施結果	実績数値	決算(千円)	目標達成のために要する年度単位				
市内の公・私立保育園で、園庭解放(週1回)や保育フェスティバルの時に訪れた保護者に対し、声かけをし、父親も気軽に相談ができる環境を整えた。また、保育園に看板を掲示し随時育児相談を行っていることの周知をはかった。	24園	-	<input checked="" type="checkbox"/> 年度ごと <input type="checkbox"/> 複数年度単位 年				
			<table border="1"> <thead> <tr> <th>今年度における達成状況</th> <th>目標に対する達成状況</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td style="text-align: center;">A</td> <td style="text-align: center;">A</td> </tr> </tbody> </table>	今年度における達成状況	目標に対する達成状況	A	A
今年度における達成状況	目標に対する達成状況						
A	A						

○ 今年度予定 (平成 30 年度)

○ 今後の目標及び計画値

活動内容	予定数値	予算(千円)
新設予定の保育園(2園)においても、男女がともに仕事と育児の両立ができるように、父親も気軽に保育園で育児相談等ができる環境を整える。	26園	-

平成27年度まで
現在保育園の掲示板で周知している所であるが、さらに地域に根ざした相談事業を推進するため積極的な活動を行う。
平成32年度まで
継続して育児相談事業をHP等で周知の徹底を図り、地域に根ざした環境を作る。

協議会評価	協議会コメント
A	非常に良好な状態であると思われる。次年度以降も育児相談の推進を継続していけるよう努めていくこと。

【社会づくり】

重点目標

担当部署

I ひとりひとりが多様な生き方を選択できる社会づくり

子ども未来部

基本的方向

保育課

1 仕事と生活の調和が図れる環境の整備

具体的方向

(4) 様々な生活環境への支援

事業名	事業概要
② 地域支援サービスの充実	児童施設等の充実及び待機児童の解消

現状	民間保育所で定員の弾力的運用を行っている。	目標	座間市子ども・子育て支援事業計画に沿って保育所整備等を進め、待機児童の解消に努める
----	-----------------------	----	---

○ 前年度実績（平成 29 年度）

※予定数値及び実績数値は実数値を入力

活動内容	予定数値	予算 (千円)	担当課による事業の評価及び今後の課題					
公立保育園ではクラス定員を増やし、民間保育所でも定員の弾力的運用を行い、待機児童解消に努める。	24園	-	民間保育所の協力を得て、保育園の新設・定員増、定員の弾力的な運営を行い待機児童の解消に努めたところではあるが、待機児童数は減少したものの、保育所入所希望が多いため待機児童の解消には至らなかった。					
実施結果	実績数値	決算 (千円)	目標達成のために要する年度単位					
継続的に民間保育所の協力を得て定員の弾力的な運営を行うとともに、平成29年4月1日に認可保育所ナーサリースクールT&Y相模が丘(60名定員)の新設、平成29年7月1日麦っ子畑保育園(60名定員)の認可保育所への移行により、待機児童の解消に努めた。	24園	-	<input checked="" type="checkbox"/> 年度ごと <input type="checkbox"/> 複数年度単位 年	<table border="1"> <tr> <td>今年度における達成状況</td> <td>目標に対する達成状況</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center; font-size: 2em;">A</td> <td style="text-align: center; font-size: 2em;">A</td> </tr> </table>	今年度における達成状況	目標に対する達成状況	A	A
今年度における達成状況	目標に対する達成状況							
A	A							

○ 今年度予定（平成 30 年度）

活動内容	予定数値	予算 (千円)
座間市子ども・子育て支援事業計画に沿って保育所整備等を進め、待機児童の解消に努める。 ・平成30年度:スマイルワールド保育園(110名定員)及びマジオたんぽぽ保育園相武台(60名定員)の新設により、待機児童解消に向けた取り組みを進める。	26園	-

○ 今後の目標及び計画値

平成27年度まで
保育所の待機児童数:20人 (第四次座間市総合計画 実施計画)
平成32年度まで
保育所の待機児童数:0人 (第四次座間市総合計画 実施計画)

協議会評価	協議会コメント
A	非常に良好な状態であると思われる。この状態を次年度以降も継続していけるよう努めていくこと。

【社会づくり】

重点目標

担当部署

I ひとりひとりが多様な生き方を選択できる社会づくり

子ども未来部

基本的方向

保育課

1 仕事と生活の調和が図れる環境の整備

具体的方向

(4) 様々な生活環境への支援

事業名	事業概要
③ 家庭生活の男女による協力の啓発	男女による協力、子どもの家事参加への啓発

現状	児童による調理の体験を実施している	目標	児童による家事への参加
----	-------------------	----	-------------

○ 前年度実績（平成 29 年度）

※予定数値及び実績数値は実数値を入力

活動内容	予定数値	予算 (千円)	担当課による事業の評価及び今後の課題	
調理の体験や保護者参加行事を通して、子どもの家事参加への啓発を行っていく。	年2回	—	各保育所において、調理(おやつ作りや芋煮会等)の体験や保護者の参加行事を通して、子どもの家事参加への啓発をおこなうことに努めた。	
実施結果	実績数値	決算 (千円)	目標達成のために要する年度単位	
保育所において、調理(おやつ作りや芋煮会等)の体験や保護者の参加行事を通して、子どもの家事参加への啓発を行った。	年3回	—	<input checked="" type="checkbox"/> 年度ごと <input type="checkbox"/> 複数年度単位 年	
			今年度における達成状況	目標に対する達成状況
			A	A

○ 今年度予定（平成 30 年度）

活動内容	予定数値	予算 (千円)
引き続き調理の体験や保護者の参加行事を通して、子どもの家事参加への啓発を行っていく。	年4回	—

○ 今後の目標及び計画値

平成27年度まで
調理(おやつ作りや芋煮会等)の体験や保護者参加行事を通して、子どもの家事参加への啓発を行っていく。年3回実施する。
平成32年度まで
調理(おやつ作りや芋煮会等)の体験や保護者参加行事を通して、子どもの家事参加への啓発を行っていく。年4回実施する。

協議会評価	協議会コメント
A	非常に良好な状態であると思われる。この状態を次年度以降も継続していけるよう努めていくこと。

【意識啓発】

重 点 目 標

担 当 部 署

Ⅲ 男女共同参画社会づくりに向けた意識啓発

子ども未来部

基 本 的 方 向

保 育 課

1 男女平等への意識改革のための教育

具 体 的 方 向

(1) 教育現場における男女平等教育の充実

事業名	事業概要
① 発達段階に応じた男女平等教育の推進・充実	幼児期における男女平等教育の実施

現状	日常保育の中で男女の区別なく個々の意見を尊重しあう大切さを教えている	目標	児童が男女の区別なく個々の意見を尊重しあう
----	------------------------------------	----	-----------------------

○ 前年度実績（平成 29 年度）

※予定数値及び実績数値は実数値を入力

活動内容	予定数値	予算 (千円)	担当課による事業の評価及び今後の課題	
保育現場だけではなく、日常の家族生活中でも、男女の区別意識を無くすため、保育士と家族が連携し、乳幼児の育児時期から男女の区別なく、個々の意見を尊重し対応していく。	2回	—	継続して保育士と家族が連携し、乳幼児の育児時期から男女の区別なく、個々の意見を尊重し対応していくことに努めていく必要がある。	
実施結果	実績数値	決算 (千円)	目標達成のために要する年度単位	
保育参観時に父にも保育の参加を呼び掛ける等、日常の保育の中で保育士と家族が連携し、乳幼児の育児時期から男女の区別なく、個々の意見を尊重し対応していくことに努めた。	2回	—	<input checked="" type="checkbox"/> 年度ごと	<input type="checkbox"/> 複数年度単位 年
			今年度における達成状況	目標に対する達成状況
			A	A

○ 今年度予定（平成 30 年度）

○ 今後の目標及び計画値

活動内容	予定数値	予算 (千円)
前年と同様に、保育士と家族が連携し、乳幼児の育児時期から男女の区別なく個々の意見を尊重し対応していく。	2回	—

平成27年度まで
年3回の保育参観及び保育参加(発表会等)実施。
平成32年度まで
年3回の保育参観及び保育参加(発表会等)実施。

協議会評価	協議会コメント
A	非常に良好な状態であると思われる。この状態を次年度以降も継続していけるよう努めていくこと。また、目標に対しての具体的な取り組みを記述すること。

【意識啓発】

重点目標

担当部署

Ⅲ 男女共同参画社会づくりに向けた意識啓発

子ども未来部

基本的方向

保育課

1 男女平等への意識改革のための教育

具体的方向

(1) 教育現場における男女平等教育の充実

事業名	事業概要
③ 指導者・保護者の男女平等教育に関する理解及び指導の促進	指導者への男女平等教育に関する学習機会の提供

現状	随時実施	目標	随時実施

○ 前年度実績（平成 29 年度）

※予定数値及び実績数値は実数値を入力

活動内容	予定数値	予算 (千円)	担当課による事業の評価及び今後の課題	
職員の地域支援研修について、参加を呼びかけ実施する。受講した職員は、保護者からの相談に活かせるよう努める。	年2回／園	3,021	職員が受けた研修を、保護者の相談に反映出来た。継続して研修会や講演会への参加を通し、職員の男女平等教育の意識向上をはかる必要がある。	
実施結果	実績数値	決算 (千円)	目標達成のために要する年度単位	
研修を受けた職員が、他の職員にフィードバックし、それぞれが保護者からの相談に対応できた。	年2回／園	598	<input checked="" type="checkbox"/> 年度ごと <input type="checkbox"/> 複数年度単位 年	
			今年度における達成状況	目標に対する達成状況
			A	A

○ 今年度予定（平成 30 年度）

活動内容	予定数値	予算 (千円)
継続して研修会や講演会の参加をし、意識向上をはかる。	年2回／園	3,892

○ 今後の目標及び計画値

平成27年度まで
研修会への参加。(年3回)
平成32年度まで
研修会への参加。(年3回)

協議会評価	協議会コメント
A	非常に良好な状態であると思われる。この状態を次年度以降も継続していけるよう努めていくこと。

【人権の尊重】

重点目標

Ⅱ 異性に対する暴力の根絶と人権の尊重

担当部署

子ども未来部

基本的方向

青少年課

1 異性への暴力防止と根絶への取組の推進

具体的方向

(1) 異性への暴力防止のための取組の推進

事業名	事業概要
③ 異性への暴力防止の意識啓発	デートDV・売買春防止のための取組

現状	随時実施	目標	配架方法を工夫し啓発の効果を高める
----	------	----	-------------------

○ 前年度実績（平成 29 年度）

※予定数値及び実績数値は実数値を入力

活動内容	予定数値	予算(千円)	担当課による事業の評価及び今後の課題				
県や広聴人権課の講座情報等のパンフレットを配架し、啓発を行う。引き続き館内2箇所配架するとともに、定期的に残数を確認し、必要に応じて追加する。各会議等において青少年相談室のPRを積極的に行う。	—	—	啓発活動は、予定通り実施できた。今後も、継続して啓発に努めるとともに、関係機関との連携を強めていく。				
実施結果	実績数値	決算(千円)	目標達成のために要する年度単位				
29年度において、異性への暴力に関する青少年からの相談は無かった。パンフレットを館内2箇所配架し、啓発に努めた。	左記のとおり	—	<input checked="" type="checkbox"/> 年度ごと <input type="checkbox"/> 複数年度単位 年				
			<table border="1"> <tr> <th>今年度における達成状況</th> <th>目標に対する達成状況</th> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">A</td> <td style="text-align: center;">A</td> </tr> </table>	今年度における達成状況	目標に対する達成状況	A	A
今年度における達成状況	目標に対する達成状況						
A	A						

○ 今年度予定（平成 30 年度）

活動内容	予定数値	予算(千円)
県や広聴人権課の講座情報等のパンフレットを配架し、啓発を行う。引き続き館内2箇所配架するとともに、定期的に残数を確認し、必要に応じて追加する。各会議等において青少年相談室のPRを積極的に行う。	—	—

○ 今後の目標及び計画値

平成27年度まで
相談やパトロール等を通じ、被害防止に努め、相談員等のスキルアップを行う。また情報のパンフレットを他事業でも配架し、啓発を行う。
平成32年度まで
青少年相談やパトロール等を通じ、被害防止に努め、青少年相談員や職員等のスキルアップを行い、情報のパンフレットを様々な場所で配架し、啓発を行う。

協議会評価	協議会コメント
A	非常に良好な状態であると思われる。この状態を次年度以降も継続していけるよう努めていくこと。また、「現状」の具体的な記述と「目標」の記載内容の再考に努めて下さい。

【人権の尊重】

重点目標

Ⅱ 異性に対する暴力の根絶と人権の尊重

基本的方向

2 様々な人権を守るための取組

具体的方向

(2) 有害情報等による被害防止のための取組

担当部署

子ども未来部

青少年課

事業名	事業概要
① 情報の正しい認識力を高める学習機会の提供	関係機関における携帯電話やインターネットを通じた情報の利便性と危険性の指導

現状	チラシ等の配架とイベント時の配布	目標	学校と連携して指導を行う。

○ 前年度実績（平成 29 年度）

※予定数値及び実績数値は実数値を入力

活動内容	予定数値	予算(千円)	担当課による事業の評価及び今後の課題				
国、県等からのパンフレットを配架する。座間市民ふるさとまつりに向け、スマートフォン等のフィルタリングの重要性を訴えるオリジナルのチラシを作成し、配布する。相談等の中で、利用上の危険性を示し、指導を行う。関係機関との連携会議でチラシを配布する。	チラシ配布 2,000枚	7	国、県等からのパンフレットを配架・配布し、周知を図った。今後も継続して学校や座間警察署生活安全課防犯少年係、神奈川県警察少年相談保護センター、厚木児童相談所等との情報交換に努め、指導を行っていく。				
実施結果	実績数値	決算(千円)	目標達成のために要する年度単位				
国、県等からのパンフレットを配架した。座間市民ふるさとまつりに向け、スマートフォン等のフィルタリング、ネットトラブル防止の重要性を訴えるオリジナルのチラシを作成し、配布した。相談等の中で、利用上の危険性を示し、指導を行った。関係機関との連携会議でチラシを配布した。	チラシ配布 2,000枚	5	<input checked="" type="checkbox"/> 年度ごと <input type="checkbox"/> 複数年度単位 年 <table border="1"> <tr> <th>今年度における達成状況</th> <th>目標に対する達成状況</th> </tr> <tr> <td>A</td> <td>A</td> </tr> </table>	今年度における達成状況	目標に対する達成状況	A	A
今年度における達成状況	目標に対する達成状況						
A	A						

○ 今年度予定（平成 30 年度）

活動内容	予定数値	予算(千円)
国、県等からのパンフレットを配架する。座間市民ふるさとまつりに向け、スマートフォン等のフィルタリングの重要性を訴えるオリジナルのチラシを作成し、配布する。相談等の中で、利用上の危険性を示し、指導を行う。関係機関との連携会議でチラシを配布する。	チラシ配布 2,000枚	10

○ 今後の目標及び計画値

平成27年度まで	国、県等からのパンフレットを配架し、情報収集に努め、相談等の中で利用上の危険性を示し、指導を行う。また、座間警察署生活安全課防犯少年係、神奈川県警察少年相談保護センター、厚木児童相談所と情報交換を行っていく。
平成32年度まで	国、県等からのパンフレットを配架し、情報収集に努め、相談等の中で利用上の危険性を示し、学校と連携して指導を行う。

協議会評価	協議会コメント
A	非常に良好な状態であると思われる。この状態を次年度以降も継続していけるよう努めていくこと。

【人権の尊重】

重点目標

Ⅱ 異性に対する暴力の根絶と人権の尊重

基本的方向

2 異性への暴力防止と根絶への取組の推進

具体的方向

(2) 有害情報等による被害防止のための取組

担当部署

子ども未来部

青少年課

事業名		事業概要	
② 有害な社会環境の是正への取組		県の青少年保護条例に基づき、有害図書等の配架状況の調査等を実施する。	
現状	県の青少年保護条例に基づき毎年実施	目標	県の青少年保護条例に基づき毎年実施。可能な限りの実地調査

○ 前年度実績（平成 29 年度）

※予定数値及び実績数値は実数値を入力

活動内容	予定数値	予算 (千円)	担当課による事業の評価及び今後の課題	
市内の書店等で有害図書等の配架状況の調査等を実施し、青少年保護育成条例に基づく対策の徹底を指導していく。 29年度は青少年補導員協議会に協力を要請し、コンビニ、インターネットカフェ・まんが喫茶、古書店、複合店、映像ソフト・ゲームソフト取扱店について合同で調査を行う。	-	-	予定どおり実施することができた。今後も継続的に調査をして、社会環境の健全化に役立てるため、県と市町村が連携し、行っていく。また、青少年にとって有害な環境を早期発見・対応ができるよう青少年補導員協議会に調査の協力を要請する。	
実施結果	実績数値	決算 (千円)	目標達成のために要する年度単位	
市内の書店等で有害図書等の配架状況の調査等を実施し、青少年保護育成条例に基づく対策の徹底を指導した。 29年度は青少年補導員協議会に協力を要請し、コンビニ、インターネットカフェ・まんが喫茶、古書店、複合店、映像ソフト・ゲームソフト取扱店について合同で調査を行った。7月から8月にかけて市内17店舗で実施し、各店舗における調査結果を県に報告した。	左記	-	<input checked="" type="checkbox"/> 年度ごと <input type="checkbox"/> 複数年度単位 年	
			今年度における達成状況	目標に対する達成状況
			A	A

○ 今年度予定（平成 30 年度）

活動内容	予定数値	予算 (千円)
市内の書店等で有害図書等の配架状況の調査等を実施し、青少年保護育成条例に基づく対策の徹底を指導していく。 30年度は青少年補導員協議会に協力を要請し、カラオケボックス、インターネットカフェ・まんが喫茶、書店について合同で調査を行う。	-	-

○ 今後の目標及び計画値

平成27年度まで	市内の書店等で有害図書等調査を実施し、青少年保護育成条例に基づく対策の徹底を指導していく。
平成32年度まで	市内の書店等で有害図書等調査を実施し、青少年保護育成条例に基づく対策の徹底を指導していく。

協議会評価	協議会コメント
A	非常に良好な状態であると思われる。この状態を次年度以降も継続していけるよう努めていくこと。

【人権の尊重】

重点目標

Ⅱ 異性に対する暴力の根絶と人権の尊重

基本的方向

2 様々な人権を守るための取組

具体的方向

(2) 有害情報等による被害防止のための取組

担当部署

子ども未来部

青少年課

事業名	事業概要
③ 相談体制の充実	青少年相談の充実

現状	毎日月～金実施	目標	毎日月～金実施
----	---------	----	---------

○ 前年度実績（平成 29 年度）

※予定数値及び実績数値は実数値を入力

活動内容	予定数値	予算(千円)	担当課による事業の評価及び今後の課題	
週5日(月～金)実施 相談員1名 週2日(火、木)実施 心理相談員各1名 週2名体制 相談員の資質向上を図りながら、関係機関と連携し相談業務を進めていく。 相談件数の増加により、心理相談員1名を新たに雇用し、週2日(火、木)の心理相談体制を整える。	—	3,600	相談件数が大幅に増加して176件から300件となったが、相談体制の拡充を行ったため適切に対応することができた。引き続き相談業務の充実を図る。	
実施結果	実績数値	決算(千円)	目標達成のために要する年度単位	
上記のとおり活動を行い、29年度は延べ300件の相談があった。	300件	3,588	<input checked="" type="checkbox"/> 年度ごと <input type="checkbox"/> 複数年度単位 年	
			今年度における達成状況	目標に対する達成状況
			A	A

○ 今年度予定（平成 30 年度）

活動内容	予定数値	予算(千円)
週5日(月～金)実施 相談員1名 週2日(火、木)実施 心理相談員各1名 週2名体制 相談員の資質向上を図りながら、関係機関と連携し相談業務を進めていく。	—	3,759

○ 今後の目標及び計画値

平成27年度まで
週5日(月～金)実施 相談員1名 週1日(火)実施 心理相談員1名 ◎必要に応じて増員等検討する。
平成32年度まで
週5日(月～金)実施 相談員1名 週2日(火、木)実施 心理相談員各1名計2名 臨床心理のカウンセリングの充実を図る。

協議会評価	協議会コメント
A	非常に良好な状態であると思われる。この状態を次年度以降も継続していけるよう努めていくこと。

【社会づくり】

重点目標

I ひとりひとりが多様な生き方を選択できる社会づくり

担当部署

都市部

基本的方向

1 仕事と生活の調和が図れる環境の整備

道路課

具体的方向

(4) 様々な生活環境への支援

事業名	事業概要
① 地域活動への男女共同参画の推進	女性や子ども、高齢者や障害者にとって住みやすいまちづくりの推進

現状	随時実施	目標	随時実施

○ 前年度実績（平成 29 年度）

※予定数値及び実績数値は実数値を入力

活動内容	予定数値	予算 (千円)	担当課による事業の評価及び今後の課題	
計画的な道路整備、維持補修を行い、住みやすいまちづくりを推進する。 路側帯のカラー表示や歩道のバリアフリー化と点字誘導ブロックの設置等で、女性、子供、高齢者や障がい者に配慮した整備に努める。	随時実施	1,190,439	今後も利用者の利便性、安全性を図るため、引き続き計画的な総合交通対策事業を進め、また、計画的な道路維持管理事業を併せて進める。	
実施結果	実績数値	決算 (千円)	目標達成のために要する年度単位	
住みやすいまちづくりのために、路側帯のカラー塗装や点字誘導ブロックの設置等で、女性、子供、高齢者や障がい者に配慮した整備に努めることが出来た。	左記	1,258,128	<input checked="" type="checkbox"/> 年度ごと <input type="checkbox"/> 複数年度単位 年	
			今年度における達成状況	目標に対する達成状況
			A	A

○ 今年度予定（平成 30 年度）

活動内容	予定数値	予算 (千円)
計画的な道路整備、維持補修を行い、住みやすいまちづくりを推進する。 路側帯のカラー表示や歩道のバリアフリー化と点字誘導ブロックの設置等で、女性、子供、高齢者や障がい者に配慮した整備に努める。	随時実施	955,264

○ 今後の目標及び計画値

平成27年度まで
計画的な道路整備、維持管理を行い、住みやすいまちづくりを推進する。 安全、快適な道路になってきていると思う市民の割合：34
平成32年度まで
計画的な道路整備、維持管理を行い、住みやすいまちづくりを推進する。 安全、快適な道路になってきていると思う市民の割合：36

協議会評価	協議会コメント
	プラン対象事業ではなくなっているため、評価対象外とする

【社会づくり】

重点目標

I ひとりひとりが多様な生き方を選択できる社会づくり

担当部署

教育部

基本的方向

2 性別にとらわれない活躍の場づくり

教育指導課

具体的方向

(1) 適性と意欲が生かせる進路選択への支援

事業名	事業概要
① 適性と意欲を尊重した進路指導の推進	多様な進路選択の可能性の提供

現状	性別ではなく、個性や適性に応じ実施	目標	多様な意欲を考慮した進路指導の推進
----	-------------------	----	-------------------

○ 前年度実績（平成 29 年度）

※予定数値及び実績数値は実数値を入力

活動内容	予定数値	予算 (千円)	担当課による事業の評価及び今後の課題	
適性と意欲を尊重した進路指導の実施	中学校 6校	—	性別にとらわれることなく、個性や適性、意欲を重視した進路指導を推進していきたい。	
実施結果	実績数値	決算 (千円)	目標達成のために要する年度単位	
進路指導委員会において生徒自身が性別にとらわれることなく個性や適性に応じた進路選択ができるよう各校相談を行った。 ・各校において「職業体験」を実施 ・各校において「三者面談」を実施 ・各校において「個人面談」を実施	中学校6校	—	<input checked="" type="checkbox"/> 年度ごと <input type="checkbox"/> 複数年度単位 年	
			<table border="1"> <tr> <th>今年度における達成状況</th> <th>目標に対する達成状況</th> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">A</td> <td style="text-align: center;">A</td> </tr> </table>	今年度における達成状況
今年度における達成状況	目標に対する達成状況			
A	A			

○ 今年度予定（平成 30 年度）

活動内容	予定数値	予算 (千円)
生徒の多様な希望に応える進路指導及び進路相談の実施	中学校6校	—

○ 今後の目標及び計画値

平成27年度まで
中学3年間を通した、キャリア教育の充実
平成32年度まで
義務教育9年間を通して、一人ひとりに適したキャリア教育の推進

協議会評価	協議会コメント
A	キャリア教育の充実と性別にとらわれることなく実施していただきたい。

さま男女共同参画プラン実施状況報告書

【 I — 2 — (1) 教育指導課 】

【社会づくり】

重点目標

I ひとりひとりが多様な生き方を選択できる社会づくり

基本的方向

2 性別にとらわれない活躍の場づくり

具体的方向

(1) 適性と意欲が生かせる進路選択への支援

担当部署

教育部

教育指導課

事業名	事業概要
② 指導者への人権・男女共同参画に関する研修の実施	人権研修の実施

現状	年2回開催	目標	年2回開催
----	-------	----	-------

○ 前年度実績 (平成 29 年度)

※予定数値及び実績数値は実数値を入力

活動内容	予定数値	予算 (千円)	担当課による事業の評価及び今後の課題				
教職員を対象に、人権教育研修会を実施した。 初任者研修「人権教育 はじめの一步 ～参加体験型学習とおして～」(宿泊研修の内容を抜粋) 「人権とは・ユニバーサル社会・人権教育の目標・人権啓発方法・外科医・ちはるさんはだあ～れ・逆転の発想・一人ひとりが身につけること・先入観・固定概念・偏見など」を実施した。	年2回 各17名	—	教職員への人権教育の中で、男女の性差を含めた人権課題などに触れた。振り返りシートから、人権感覚や男女共同参画に対する認識を高めることができたことが伝わった。次世代への影響を与える教職員への研修は、今後も継続して実施していく必要がある。				
実施結果	実績数値	決算 (千円)	目標達成のために要する年度単位				
身近な生活の中に、様々な男女の性差を含めた人権課題が存在していることに気づきを与え、様々なアクティビティを使って、児童・生徒目線からの人権について、感じられる学習の大切さを実感してもらうことができた。また「めぐみ」も視聴し、今後も解決していくべき問題があることを示すことができた。	年2回 各17名 + 初任者研修22人 合計39人	—	<input checked="" type="checkbox"/> 年度ごと <input type="checkbox"/> 複数年度単位 年 <table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <th>今年度における達成状況</th> <th>目標に対する達成状況</th> </tr> <tr> <td style="text-align: center; font-size: 2em;">A</td> <td style="text-align: center; font-size: 2em;">A</td> </tr> </table>	今年度における達成状況	目標に対する達成状況	A	A
今年度における達成状況	目標に対する達成状況						
A	A						

○ 今年度予定 (平成 30 年度)

活動内容	予定数値	予算 (千円)
人権教育研修会を実施 (教職員対象)	年2回 各17名 + 初任者研修24人 合計41人	—

○ 今後の目標及び計画値

平成27年度まで
人権教育研修会を実施する。 年1回開催 20人 対象:教職員
平成32年度まで
人権教育研修会を実施し、内容の充実を図る。 年2回開催 17人(各校1名)+初任者研修 対象:教職員

協議会評価	協議会コメント
A	非常に良好な状態であると思われる。 この状態を次年度以降も継続し、研修を授業で活かせるよう実施時期を早めるなどの検討をお願いしたい。

ざま男女共同参画プラン実施状況報告書

【 I — 2 — (1) 教育指導課 】

【社会づくり】

重点目標

I ひとりひとりが多様な生き方を選択できる社会づくり

基本的方向

2 性別にとらわれない活躍の場づくり

具体的方向

(1) 適性と意欲が生かせる進路選択への支援

担当部署

教育部

教育指導課

事業名	事業概要
② 指導者への人権・男女共同参画に関する研修の実施	指導者へのセクハラや多様な性に関する研修の実施

現状	事故防止会議内で実施	目標	事故防止会議内で実施

○ 前年度実績 (平成 29 年度)

※予定数値及び実績数値は実数値を入力

活動内容	予定数値	予算 (千円)	担当課による事業の評価及び今後の課題	
各学校で、事故防止会議の中で実施。 (およそ学期に1回) 部活動における新規の外部指導者については、採用時、市教委指導主事による研修を実施。	各校年1回以上	—	セクシャルハラスメント防止、多様な性に関する研修を実施した。平成27年度も市内小・中学校でこれらの事故が発生していないことから、教職員の意識を保っているものと考えている。今後も継続して実施していく。	
実施結果	実績数値	決算 (千円)	目標達成のために要する年度単位	
全ての市内小・中学校で、「事故防止会議」を実施した。	4回/年	—	<input checked="" type="checkbox"/> 年度ごと <input type="checkbox"/> 複数年度単位 年	
			今年度における達成状況	目標に対する達成状況
			A	A

○ 今年度予定 (平成 30 年度)

活動内容	予定数値	予算 (千円)
各学校で、外部講師を招聘するなどを含めた事故防止会議(研修)を取り込む。 部活動における新規の外部指導者については、採用時、市教委指導主事による研修を実施。	4回/年	—

○ 今後の目標及び計画値

平成27年度まで
生徒・教職員の人権を守るため、事故防止会議(研修)を充実させる。
平成32年度まで
市内小・中学校において、学校事故が一切発生しない職場環境を整備する。

協議会評価	協議会コメント
A	非常に良好な状態であると思われる。この状態を次年度以降も継続していけるよう努めていくこと。

【人権の尊重】

重点目標

Ⅱ 異性に対する暴力の根絶と人権の尊重

担当部署

教育部

基本的方向

教育指導課

1 異性への暴力防止と根絶への取組の推進

具体的方向

(1) 異性への暴力防止のための取組の推進

事業名	事業概要
③ 異性への暴力防止の意識啓発	異性への暴力防止に関する授業の実施

現状	異性への暴力防止の意識啓発	目標	主に保健体育、道徳等の授業で実施

○ 前年度実績（平成 29 年度）

※予定数値及び実績数値は実数値を入力

活動内容	予定数値	予算 (千円)	担当課による事業の評価及び今後の課題	
主に保健体育、道徳の授業で実施 (該当学年で1時間以上)	各学年1時間以上	—	暴力は人権侵害であることを授業等で取り扱った。また、DV、セクシャルハラスメント、ストーカー行為についても、発達段階に応じて指導を行った。	
実施結果	実績数値	決算 (千円)	目標達成のために要する年度単位	
主に保健体育及び道徳の授業で実施 ・小学校保健の授業「犯罪被害の防止」で実施 ・中学校保健体育の授業「異性の尊重と性情報への対処」で実施	各学年1時間以上	—	<input checked="" type="checkbox"/> 年度ごと <input type="checkbox"/> 複数年度単位 年	
			今年度における達成状況	目標に対する達成状況
			A	A

○ 今年度予定（平成 30 年度）

活動内容	予定数値	予算 (千円)
各学校で保健体育、道徳の授業で実施	各学年1時間以上	—

○ 今後の目標及び計画値

平成27年度まで
主に保健体育、道徳の授業で実施
平成32年度まで
保健体育、道徳、学級活動の授業で実施

協議会評価	協議会コメント
A	非常に良好な状態であると思われる。この状態を次年度以降も継続していけるよう努めていくこと。

【人権の尊重】

重点目標

担当部署

Ⅱ 異性に対する暴力の根絶と人権の尊重

教育部

基本的方向

教育指導課

2 様々な人権を守るための取組

具体的方向

(1) 多様な性のあり方の理解と啓発

事業名	事業概要
① 発達段階に応じた適切な性教育の実施	男女のからだの仕組みの違いや、性の有り方など発達段階に応じた教育の指導

現状	各校で実施	目標	各校で実施

○ 前年度実績（平成 29 年度）

※予定数値及び実績数値は実数値を入力

活動内容	予定数値	予算 (千円)	担当課による事業の評価及び今後の課題	
各学校の保健体育の授業で実施	市内17校	—	保護者の考え方の違いにも配慮し、学習指導要領にそって保健体育の授業を通じて、男女のからだの仕組みの違いや、性の在り方など発達段階に応じた教育の指導を行った。	
実施結果	実績数値	決算 (千円)	目標達成のために要する年度単位	
各学校で保健体育の授業で実施 (該当学年1時間以上) ・小学校の保健授業「育ちゆく体とわたし」で実施 ・中学校保健体育の授業「生殖機能の成熟」で実施	市内17校	—	<input checked="" type="checkbox"/> 年度ごと <input type="checkbox"/> 複数年度単位 年	
			今年度における達成状況	目標に対する達成状況
			A	A

○ 今年度予定（平成 30 年度）

活動内容	予定数値	予算 (千円)
各学校の保健体育の授業で実施	市内17校	—

○ 今後の目標及び計画値

平成27年度まで
隔年で、学校保健安全研修会を実施。主に保健体育等の授業で実施。
平成32年度まで
保健体育、学級活動等の授業で実施。

協議会評価	協議会コメント
A	現時点では目標達成しているが、将来的に課題が見えてくることが考えられるため、積極的な配慮と柔軟な対応に努めていくこと。

【人権の尊重】

重点目標

Ⅱ 異性に対する暴力の根絶と人権の尊重

担当部署

教育部

基本的方向

2 様々な人権を守るための取組

教育指導課

具体的方向

(2) 有害情報等による被害防止のための取組

事業名	事業概要
① 情報の正しい認識力を高める学習機会の提供	教育機関における携帯電話やインターネットを通じた情報の利便性と危険性の指導

現状	各校で情報モラル教育の実施	目標	携帯電話やインターネットを通じた情報利用や活用の利便性と危険性の指導
----	---------------	----	------------------------------------

○ 前年度実績（平成 29 年度）

※予定数値及び実績数値は実数値を入力

活動内容	予定数値	予算 (千円)	担当課による事業の評価及び今後の課題	
今日の課題研修会を実施 (講師：神奈川県警察本部生活安全部サイバー犯罪対策課 情報セキュリティアドバイザー 加野 智喜 氏) 各校で情報モラル教育を実施	市内17校 各1名 年1回	—	教職員がインターネットの利便性と危険性の両方を正しく理解し、ネットを通じた性被害などにあわないよう、今後の有効な指導について学んだ。	
実施結果	実績数値	決算 (千円)	目標達成のために要する年度単位	
今日の課題(携帯)研修会を各小・中学校の教職員代表を対象に実施した。(6/16 5-1会議室) 各校で情報モラル教育を実施	市内17校 年1回	—	<input checked="" type="checkbox"/> 年度ごと <input type="checkbox"/> 複数年度単位 年	
			今年度における達成状況	目標に対する達成状況
			A	A

○ 今年度予定（平成 30 年度）

活動内容	予定数値	予算 (千円)
今日の課題研修会を実施 各校で情報モラル教育を実施	市内17校 年1回	—

○ 今後の目標及び計画値

平成27年度まで
今日の課題研修会を実施。 各校で、情報モラル教育の実施。
平成32年度まで
今日の課題研修会を実施。 各校で、情報モラル教育の実施。 保護者への啓蒙も、深めていく。

協議会評価	協議会コメント
A	非常に良好な状態であると思われる。この状態を次年度以降も継続していけるよう努めていくこと。

【意識啓発】

重点目標

担当部署

Ⅲ 男女共同参画社会づくりに向けた意識啓発

教育部

基本的方向

教育指導課

1 男女平等への意識改革のための教育

具体的方向

(1) 教育現場における男女平等教育の充実

事業名	事業概要
① 発達段階に応じた男女平等教育の推進・充実	家庭科等の授業を通じて男女がおたがいに自立するための教育の実施

現状	各学校で実施	目標	各学校で実施

○ 前年度実績（平成 29 年度）

※予定数値及び実績数値は実数値を入力

活動内容	予定数値	予算 (千円)	担当課による事業の評価及び今後の課題	
各学校の家庭科、保健体育、道徳で実施 (該当学年で1時間以上)	市内17校	—	男子・女子ともに共同して考え作り上げていく教材を通し、相互理解を深めている。	
実施結果	実績数値	決算 (千円)	目標達成のために要する年度単位	
・各学年で家庭科、保健体育、道徳の授業で実施。 ・小学校家庭科「見つめよう家庭生活」の授業で実施。 ・中学校家庭科「家庭と家族関係」の授業で実施。	市内17校	—	<input checked="" type="checkbox"/> 年度ごと <input type="checkbox"/> 複数年度単位 年	
			今年度における達成状況	目標に対する達成状況

○ 今年度予定（平成 30 年度）

活動内容	予定数値	予算 (千円)
各学校の家庭科、保健体育、道徳で実施	市内17校	—

○ 今後の目標及び計画値

平成27年度まで
各学校で、主に家庭科、保健体育、道徳で実施。
平成32年度まで
各学校で、家庭科、保健体育、道徳、学級活動で実施。

協議会評価	協議会コメント
A	非常に良好な状態であると思われる。この状態を次年度以降も継続していけるよう努めていくこと。

【意識啓発】

重点目標

担当部署

Ⅲ 男女共同参画社会づくりに向けた意識啓発

教育部

基本的方向

教育指導課

1 男女平等への意識改革のための教育

具体的方向

(1) 教育現場における男女平等教育の充実

事業名	事業概要
① 発達段階に応じた男女平等教育の推進・充実	人権、男女平等教育の実施

現状	随時実施	目標	人権、男女平等教育を推進する
----	------	----	----------------

○ 前年度実績（平成 29 年度）

※予定数値及び実績数値は実数値を入力

活動内容	予定数値	予算 (千円)	担当課による事業の評価及び今後の課題				
男女平等教育の実施	市内17校	—	人権及び男女平等について、正しい認識と指導が伴うよう、学級経営研修会や人権教育研修等で引き続き教職員に学んでもらう。体育祭での色長や児童・生徒会などで女子児童生徒の比率が高まっていることから、実施されていることが現状につながっていると評価した。				
実施結果	実績数値	決算 (千円)	目標達成のために要する年度単位				
授業や日々の学校生活の諸活動(係活動や常任委員会活動など)、行事等を通じ、発達段階に応じた男女の平等意識を育んだ。社会状況の変化により、より自然な雰囲気での学びが可能になってきている。	市内17校	—	<input checked="" type="checkbox"/> 年度ごと <input type="checkbox"/> 複数年度単位 年				
			<table border="1"> <tr> <th>今年度における達成状況</th> <th>目標に対する達成状況</th> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">A</td> <td style="text-align: center;">A</td> </tr> </table>	今年度における達成状況	目標に対する達成状況	A	A
今年度における達成状況	目標に対する達成状況						
A	A						

○ 今年度予定（平成 30 年度）

○ 今後の目標及び計画値

活動内容	予定数値	予算 (千円)
発達段階に応じた人権、男女平等教育の実施	市内17校	—

平成27年度まで
人権、男女平等教育の実施
平成32年度まで
人権、男女平等教育の実施

協議会評価	協議会コメント
A	非常に良好な状態であると思われる。この状態を次年度以降も継続していけるよう努めていくこと。

さま男女共同参画プラン実施状況報告書

【Ⅲ－１－（１）教育指導課】

【意識啓発】

重点目標

担当部署

Ⅲ 男女共同参画社会づくりに向けた意識啓発

教育部

基本的方向

教育指導課

1 男女平等への意識改革のための教育

具体的方向

(1) 教育現場における男女平等教育の充実

事業名	事業概要
③ 指導者・保護者の男女平等教育に関する理解及び指導の促進	指導者への男女平等教育に関する学習機会の提供

現状	随時実施	目標	随時実施

○ 前年度実績（平成 29 年度）

※予定数値及び実績数値は実数値を入力

活動内容	予定数値	予算 (千円)	担当課による事業の評価及び今後の課題				
男女平等教育も含めた人権研修案内の送付 PTA研修講座 教職員研修	年1回以上	—	県からの資料を配付・周知し、意識の向上に努めてきた。				
実施結果	実績数値	決算 (千円)	目標達成のために要する年度単位				
案内送付(一例) ・知ることからはじめる人権啓発研修講座 北村年子氏(11/28) ・第1回 人権教育指導者研修講座 阿部真紀氏(7/3) ・第2回 人権教育指導者研修講座 熊 仁美氏(10/26) ・人権教育学習会 木村素子氏(6/14) ・県市町村人権教育担当者研修会 横田千代子氏(4/26) ・県市町村人権教育担当者研修会 平良 愛香氏(6/15) 他	左記	—	<input checked="" type="checkbox"/> 年度ごと <input type="checkbox"/> 複数年度単位 年				
			<table border="1"> <tr> <th>今年度における達成状況</th> <th>目標に対する達成状況</th> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">A</td> <td style="text-align: center;">A</td> </tr> </table>	今年度における達成状況	目標に対する達成状況	A	A
今年度における達成状況	目標に対する達成状況						
A	A						

○ 今年度予定（平成 30 年度）

○ 今後の目標及び計画値

活動内容	予定数値	予算 (千円)	平成27年度まで
男女平等教育も含めた人権研修案内の送付 PTA研修講座 教職員研修	年1回以上	—	研修案内の送付。 成人教育講座の実施。 職員研修の実施。
			平成32年度まで
			研修案内の送付。 成人教育講座の実施。 職員研修を繰り返し行っていく。

協議会評価	協議会コメント
A	非常に良好な状態であると思われる。この状態を次年度以降も継続していけるよう努めていくこと。

【社会づくり】

重点目標

I ひとりひとりが多様な生き方を選択できる社会づくり

基本的方向

1 仕事と生活の調和が図れる環境の整備

具体的方向

(4) 様々な生活環境への支援

担当部署

教育部

生涯学習課

事業名	事業概要		
③ 家庭生活の男女による協力の啓発	こどもの発達に応じた父親(男性)ならではのこどもとの遊び方を学ぶ		
現状	公民館の子育て支援講座は平日(木)開催のため父親が参加しづらいので、週末に父親を対象としたこどもの年齢に応じた遊び方の講座を開催した。	目標	健やかに子育てするために父親の育児参加を促す。

○ 前年度実績 (平成 29 年度)

※予定数値及び実績数値は実数値を入力

活動内容	予定数値	予算(千円)	担当課による事業の評価及び今後の課題	
父親とこどもの親子遊び講座。幼稚園の体育主任を講師にお招きしてこどもの成長に応じた運動機能や運動能力を高める男性ならではのダイナミックな遊び方を楽しく学び、イクメンスイッチを入れる。父親の育児参加を促し健全な子育てに還元する。	定員30組	10	運動機能の発達に応じた全身を使っの様々な遊びや特別なおもちゃが無くても段ボール箱やすずらんテープ、スーパーのビニール袋など身近なもので楽しく遊ぶ方法などを学ぶことでイクメンレベルをUPできた。父親の育児参加を促し母親だけに育児を負担させることのない子育てを目指す。	
実施結果	実績数値	決算(千円)	目標達成のために要する年度単位	
日曜日に開催することで日頃は幼い我が子と何時間もママ抜きで遊ぶ機会の少ないパパたちが全身を使って子どもと遊ぶ様子は微笑ましく、こどもの遊び方を成長に応じて学ぶことでイクメンレベルをスキルアップさせた。	17組 34人	10	<input checked="" type="checkbox"/> 年度ごと <input type="checkbox"/> 複数年度単位 年	
			今年度における達成状況	目標に対する達成状況
			A	A

○ 今年度予定 (平成 30 年度)

活動内容	予定数値	予算(千円)
公民館の年間を通した事業にも父親の参加が増えてきたので、さらなる父親への子育て支援講座を開催していく。今年度は2回開催予定。	参加者30組	30

○ 今後の目標及び計画値

平成27年度まで
講座参加者に占める男性の割合を10%増やす
平成32年度まで
公民館の講座をきっかけにパパとこどもの時間が増えることで、男性の育児参加を促し健全な子育ての啓発に努める。

協議会評価	協議会コメント
A	非常に良好な状態であると思われる。この状態を次年度以降も継続していけるよう努めていくこと。

【人権の尊重】

重点目標

Ⅱ 異性に対する暴力の根絶と人権の尊重

基本的方向

2 様々な人権を守るための取組

具体的方向

(2) 有害情報等による被害防止のための取組

担当部署

教育部

生涯学習課

事業名		事業概要	
① 情報の正しい認識力を高める学習機会の提供		情報を正しく選択する力を身に付ける学習機会の提供	
現状	「パソコン講座」	目標	情報格差社会に対応する講座の開催

○ 前年度実績（平成 29 年度）

※予定数値及び実績数値は実数値を入力

活動内容	予定数値	予算(千円)	担当課による事業の評価及び今後の課題	
市内3館(座間市公民館・北地区文化センター・東地区文化センター)で年間を通じてパソコン講座を開催している。	各回16名	72	男女共同参画の観点も含め募集した結果40～70代の男女の参加者があり講座の役割は果たせた。感想も前向きなものが多かった。	
実施結果	実績数値	決算(千円)	目標達成のために要する年度単位	
ワード・エクセル・パワーポイントの講座を開催し多彩なニーズに応える講座を開催した。	45名	72	<input checked="" type="checkbox"/> 年度ごと <input type="checkbox"/> 複数年度単位 年	
			今年度における達成状況	目標に対する達成状況
			A	A

○ 今年度予定（平成 30 年度）

活動内容	予定数値	予算(千円)
公民館で開催する講座のカリキュラムに情報化社会についての内容を継続して盛り込んでいく。	16x2 32名	72

○ 今後の目標及び計画値

平成27年度まで
公民館で行っている講座のカリキュラムに、情報化社会についての内容を盛り込んでいく。
平成32年度まで
情報化社会に関する講座の開催を定番化し普及啓発に努める。

協議会評価	協議会コメント
A	現時点では目標達成しているが、将来的に課題が見えてくるのが考えられるため、これに備えること。また、「具体的方向」「事業概要」と「実施結果」の内容が合っていないので、次年度以降の報告は検討すること。

【意識啓発】

重点目標

Ⅲ 男女共同参画社会づくりに向けた意識啓発

基本的方向

1 男女平等への意識改革のための教育

具体的方向

(2) 生涯学習における男女平等教育の推進

担当部署

教育部

生涯学習課

事業名	事業概要		
① 男女共同参画に関する意識啓発の実施	夫婦で参加できる子育て講座の実施		
現状	男女の性差なく子育てするための講座を実施している。	目標	男女平等意識を啓発するとともに、夫婦が協力して子育てすることを促す。

○ 前年度実績（平成 29 年度）

※予定数値及び実績数値は実数値を入力

活動内容	予定数値	予算 (千円)	担当課による事業の評価及び今後の課題				
子どもの誕生によって大きく変化した環境の中で、夫婦がお互いを理解し、上手に協力しながら子育てしていくコツを学ぶ講座を年2回実施した。	50	217	子育ての専門家にお話いただき、受講生の悩みを解消する講座を実施することができた。また、保育付き・日曜開催とすることで、夫婦二人での参加を促すことができた。今後、より多くの受講者に参加いただけるよう工夫していきたい。				
実施結果	実績数値	決算 (千円)	目標達成のために要する年度単位				
アンケート結果より、受講者からの講座に対する評価が好評であり、本講座について多くの支持をいただくことができた。	38	155	<input checked="" type="checkbox"/> 年度ごと <input type="checkbox"/> 複数年度単位 年 <table border="1"> <tr> <td>今年度における達成状況</td> <td>目標に対する達成状況</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">A</td> <td style="text-align: center;">A</td> </tr> </table>	今年度における達成状況	目標に対する達成状況	A	A
今年度における達成状況	目標に対する達成状況						
A	A						

○ 今年度予定（平成 30 年度）

活動内容	予定数値	予算 (千円)
今年度は、昨年度同様、年2回の講座を行う。昨年度は2回とも女性講師であったが、今年度は男性講師も呼び、男女平等意識の啓発、夫婦が協力して子育てすることについて学ぶ。	40	179

○ 今後の目標及び計画値

平成27年度まで
多くの受講者が参加できるよう、講師の選定や会場選びの工夫をする。
平成32年度まで
より多くの受講者が参加できるよう、受講生のニーズを汲み取った講座を目指す。

協議会評価	協議会コメント
A	非常に良好な状態であると思われる。この状態を次年度以降も継続していけるよう努めていくこと。

【意識啓発】

重点目標

Ⅲ 男女共同参画社会づくりに向けた意識啓発

基本的方向

1 男女平等への意識改革のための教育

具体的方向

(2) 生涯学習における男女平等教育の推進

担当部署

教育部

生涯学習課

事業名	事業概要		
① 男女共同参画に関する意識啓発の実施	各種講座の実施		
現状	「親と子が共に育つ教室」 9月から12月(全10回)の長期講座 子育て中でも学びたい。という保護者のための 子育て支援講座	目標	子どもと一緒に過ごせる幸せを感じ、感謝する心を忘れずに母親 だけが育児をするのではなく男女の性差なく助け合って楽しく子育 てをするようになることを目的に講座を企画運営。母親の参加が 多いが、男女関係なく参加してもらえるようにしていきたい。

○ 前年度実績（平成 29 年度）

※予定数値及び実績数値は実数値を入力

活動内容	予定 数値	予算 (千円)	担当課による事業の評価及び今後の課題	
全10回の子育て支援講座のひとつとして、パート ナーとの関係について考える講座「男性と女性 の考え方の違い」「夫婦のコミュニケーション講座」 などを開催。	30組	460	講座の出席率も高く、修了後の感想やまとめ誌から「受講 する前より楽しく子育て出来るようになる」という目的も達 成。特に“座間市で子育て出来て良かった！”“子育てを支 えてくれる人がこんなにたくさんいることを知りこれからの 子育てを頑張ろうと思う！”という感想をうれしく思う。	
実施結果	実績 数値	決算 (千円)	目標達成のために要する年度単位	
毎回の感想やまとめ誌からきちんと講座にこめたメッセージが 届いていた。保育の関係で平日(木曜日)開催のため母親の 参加が多いが、毎回の講座の後に内容について夫婦で話し 合う受講生が多く男性にも伝わっている様子がみられた。	30組	381	<input checked="" type="checkbox"/> 年度ごと	<input type="checkbox"/> 複数年度単位
				年
			今年度におけ る達成状況	目標に対す る達成状況
			A	A

○ 今年度予定（平成 30 年度）

活動内容	予定 数値	予算 (千円)
「親と子が共に育つ教室」 長期の子育て支援講座を9月から全10回で開 講。男女共に社会に進出する時代を迎え、未来を 担う子どもたちが健やかに成長するために男女の 性差なく子育てするために、男女共同参画を念頭 に講座内容を起案。	30組	453

○ 今後の目標及び計画値

平成27年度まで
ますますの男性(父親)の育児参加を促す
平成32年度まで
座間に住み、座間で子育てして良かったと 感じ、母親が独りで子育てをするのではな く、父親はもちろん地域で子育てを見守る環 境を作る

協議会評価	協議会コメント
A	非常に良好な状態であると思われる。この状態を次年度以降も継続していけるよう努めていくこと。

【意識啓発】

重点目標

担当部署

Ⅲ 男女共同参画社会づくりに向けた意識啓発

教育部

基本的方向

生涯学習課

1 男女平等への意識改革のための教育

具体的方向

(2) 生涯学習における男女平等教育の推進

事業名	事業概要
① 生涯学習における男女共同参画意識啓発	各種講座の実施

現状	わくわく教室の一コマに入れ込むことが可能であるが企画委員との協議でテーマ、内容を決めるので必ずしも実施するわけではない。	目標	配偶者と男女の平等についての意識の啓発を図る。
----	--	----	-------------------------

○ 前年度実績（平成 29 年度）

※予定数値及び実績数値は実数値を入力

活動内容	予定数値	予算(千円)	担当課による事業の評価及び今後の課題	
わくわく学級は地域で子育てをしている親同士がつながることを目的としたプログラム。全9回 各2時間	30人	10	例年父親の参加があってもいい講座であるが、日程の関係上母親の参加しか見られない。29年度は母親が子育てをしながら抱える悩みやストレスを吐き出し、日常のスキルアップを目指した。今後は夫婦ともに子育て生活について考える機会を提案したい。	
実施結果	実績数値	決算(千円)	目標達成のために要する年度単位	
全教室、講師を招き心豊かにHAPPY TIMEをテーマに子育ての悩みをオープンにしながらこれからの子育て、家族の在り方、自身の生き方について考える時間を持たた。	参加者 28人	9	<input checked="" type="checkbox"/> 年度ごと <input type="checkbox"/> 複数年度単位	年
			今年度における達成状況	目標に対する達成状況
			A	A

○ 今年度予定（平成 30 年度）

活動内容	予定数値	予算(千円)
仕事に戻る母親が多い中、夫婦間で家事の役割分担について考えたり、育児について話せる時間を作りたい。	30人	10

○ 今後の目標及び計画値

平成27年度まで
-
平成32年度まで
年1回程度、夫婦間の自分らしさを認め合いながら日常で男女の協力をスムーズに取り込める講座を行うことを考えている。

協議会評価	協議会コメント
A	非常に良好な状態であると思われる。この状態を次年度以降も継続していけるよう努めていくこと。

【意識啓発】

重点目標

Ⅲ 男女共同参画社会づくりに向けた意識啓発

基本的方向

1 男女平等への意識改革のための教育

具体的方向

(2) 生涯学習における男女平等教育の推進

担当部署

教育部

生涯学習課

事業名	事業概要
① 生涯学習における男女共同参画意識啓発	各種講座の実施

現状	少子高齢化が進み、女性の社会での活躍が期待される中、保育園やハローワークへの関心とともに、様々な働き方の可能性への探究が高まっている。	目標	女性たちが自分のキャリアデザインを描き、今何をスタートすればいいのかを考える機会と仲間づくりを進める。
----	---	----	---

○ 前年度実績（平成 29 年度）

※予定数値及び実績数値は実数値を入力

活動内容	予定数値	予算(千円)	担当課による事業の評価及び今後の課題				
①女性のためのワード&エクセル入門講座 オフィスワークで活用できるワードとエクセルの初歩の内容を学習しました。 ②ワーキングママへの準備講座 子育てと仕事の両立についての情報提供や、情報交換の場としました。講師に先輩ワーキングママ、市保育課、麦っ子畑保育園園長をお迎えしました。	①16人 ②25人	①24千円 ②56千円	就労に向けたスキルや保育園探しなど具体的な課題について学習し、お互いの情報交換や悩みを共有する場とすることができた。				
実施結果	実績数値	決算(千円)	目標達成のために要する年度単位				
①オフィスワークにどのようなパソコンのスキルが必要かなど具体的な質問があがり、就労に対して積極的な姿勢が見られた。 ②保育園に預ける際のポイントや保育料などについて具体的な情報を提供することが出来た。	①延べ39人 ②延べ45人	①24千円 ②60千円	<input checked="" type="checkbox"/> 年度ごと <input type="checkbox"/> 複数年度単位 年 <table border="1"> <tr> <td>今年度における達成状況</td> <td>目標に対する達成状況</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">A</td> <td style="text-align: center;">A</td> </tr> </table>	今年度における達成状況	目標に対する達成状況	A	A
今年度における達成状況	目標に対する達成状況						
A	A						

○ 今年度予定（平成 30 年度）

活動内容	予定数値	予算(千円)
ワーキングママへの準備講座	25名	50千円

○ 今後の目標及び計画値

平成27年度まで	休日や夜間など開催の講座を開催し、男女平等教育を推進する。
平成32年度まで	年間の講座の中に男女平等等のテーマを1コマ増やす。

協議会評価	協議会コメント
A	非常に良好な状態であると思われる。この状態を次年度以降も継続していけるよう努めていくこと。